

経営（事業）計画書

令和7年度（第52期）



社会福祉法人さつき会

法人の経営理念(願うこと)

『私たちは、社会福祉事業を通して地域社会・住民にとってなくてはならない存在であり続ける。』

(趣旨)

社会福祉法人さつき会は、地域や施設において『尊厳にみちた環境で人としてごく当たり前の生活を保障されるべき高齢者』に対して、常に高齢者の立場に立った良質高度な高齢者福祉サービスを提供し、地域から、社会から愛され、信頼される事業主体になることを目指すこと。

法人の使命(果たすこと)

『高齢者の自立した尊厳ある、人間らしい生活を守る』

法人のビジョン(目指すこと)

- 一 自分が入りたいと思える施設をつくる
- 一 自分が住み続けたいと思える地域をつくる
- 一 自分と仲間が働きやすく働きがいのある職場をつくる

法人の介護理念(大切にすること)

- 一 人間尊重
一人ひとりをかけがえのない人間として大切にします
- 一 当事者主体
その人の人生や生活の主体は、相手にあることを大切にします
- 一 利用者本位
常に相手の身になり、相手の立場に立って考え行動することを大切にします

社 是(求められること)

自立(自律) 信頼 創造

一 自立(自律)

自ら考え、自ら判断し、自らの良心と社会的規範に従い行動し、決定する。その結果について自ら責任を持つ。職員一人ひとりが自立(自律)の心を真に理解し、育み、持てる力を十分に発揮することによって、法人の発展と自己実現の達成に結びつけていくことを目指すものである。

一 信頼

法人の持続的な発展のためには、職員相互の信頼関係を大切にし、サービス・活動を通して顧客満足度をより一層高め、お客様の信頼を得ることです。

一 創造

経営は創造であり、各職員一人ひとりが常に進取の心を養い、自己啓発を進め、知恵と創意と工夫によって優れた介護の技法を創造するとともに、職員の力を結集して豊かで安心できる高齢社会に貢献し得る介護サービスを創出していくことである。

社 訓(心がけること)

1. 常に主体性をもって行動します。

私たちは、自らの置かれた境遇や立場や状況を他人や私たちを取り囲むもののせいにするのではなく、先ず、その中で自分たちに何ができるかを考え行動します。

2. 常にお客様の身になって行動します。

私たちは、お客様を大切にします。ご利用者・お客様のニーズの把握に努め、具体的な内容として居室の清潔性、同居者との相性、入浴回数、食事内容、食事時間、職員の対応等種々多様に考えられます。それらのニーズに即応した良質な介護サービスが提供できるよう介護技術の専門性を磨き、気配りし、利用者・お客様に満足していただけるようお客様の身になって行動します。

3. 常に目的をもち計画的に行動します。

私たちは、計画、目的、反省、改善のないところには進歩はあり得ないことを肝に銘じ、計画・実践・反省評価のサイクルを全ての業務・活動の原則とし、1日・1週間・1か月・1年の単位において計画し、最終の姿(目的)を描いてから行動します。

4. 常に人を理解してから、理解されるよう努めます。

私たちは、自分たちのことを理解してもらおうとする前に、相手の言い分を十分理解しようと努めます。

5. 常に人と人との交わりの中で、相乗効果を発揮するよう努めます。

私たちは、自分の考えと異なる考えを柔軟に受け入れ、相違点を尊び、お互いのいいところは認め伸ばし、弱いところは合い補いながら、相乗効果が発揮されるよう努めます。

6. 常に重要事項を優先するよう、心がけます。

私たちは、日々の活動の中で、緊急ではないが、重要なことを意識的にスケジュール化して活動します。日々の学習であったり、将来を見据えた若手職員の育成であったり、つまり長いスパンで物事を考えた場合に重要なことをさします。

7. 常に相手と自分が共に満足する結果が得られることを考えて行動します。

私たちは、皆のために十二分な結果が得られることを信じ、自分だけの満足だけではなく、相手(時には顧客であり、上司であり、部下であり、同僚であり、協力者である)の満足を考え、双方にとって有益で満足のいく結果をめざします。

8. 常に自分自身を研く努力をします。

私たちは、自分たちの生活において、肉体的・知的・社会的・情緒的・精神的に自分のもっている能力を維持し、伸ばすための時間を意識してつくります。

第7次<2025-2027> さつき会中期経営3か年計画<基本方針・全事業所職場目標・成果指標・重点事項>

基本方針

1. 次世代の経営を担う人材を育成する。
2. すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
3. 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
4. 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
5. 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
6. 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

全事業所職場目標
『自ら学び 自ら考え 自ら動く』

成果指標<人材・人事・組織>

(ア)離職率5%以下
(イ)日本人の新卒者採用3名以上(年1名以上)
(ウ)外国人介護人材就労率15%以上
(エ)次世代の経営を担う人材育成 6名以上
(オ)職員の職場満足度 80%以上

成果指標<介護DX・生産性向上>

(ア)全事業所・介護施設・全居室に眼リスキャン・カメラ・センサー・インカム・Wi-Fiナースコール等の整備率 100%
(イ)紙文書の電子保存化50%以上
(ウ)デジタル中核人材養成研修受講者 15名以上(年5名以上)
(エ)自主的な業務改善活動 50%以上
(オ)残業時間 20%以上削減

成果指標<事業・サービス>

(ア)特養・グループホーム稼働率98%以上
(イ)ショートステイ稼働率90%以上
(ウ)デイサービス利用者数1日40名以上
(エ)居宅利用者数240件以上(1人44件以上、管理者20件)
(オ)小規模多機能ホーム登録者24名以上
(カ)サ高住稼働率94%以上
(キ)訪問介護月間訪問件数1,000件以上
(ク)インスタグラムの開設と質の高いコンテンツ発信 年365回以上 フォロワー数1,000人
(ケ)介護過程の実施率 100%

成果指標<財務>

(ア)サービス活動収入 800,000千円以上
※各サービスごとの目標活動収入設定
(イ)サービス活動増減差額 10%以上の達成
(ウ)人件費率64%以下
(エ)経費率(事務費・事業費)26%以下
(オ)施設整備等積立金300,000千円以上(年30,000千円以上)
(カ)取得できる加算の取得率 100%
(キ)基準昇給率2%以上、実質昇給率1.5%以上

重点事項<人材・人事・組織>

主体性と経営視点を備えた次世代経営幹部の育成

- ・次世代の経営を担う人材育成研修の実施(年4回以上開催3か年)
- ・教育・キャリア形成を支援するための計画的な人事運用の実施

重点事項<介護DX・生産性向上>

介護DX・ICT活用による業務改善とサービスの質向上

- ・最新・最先端のテクノロジーの導入・活用(生産性向上推進委員会の活性化)
- ・業務改善のリーダーシップを担う(仮称)「生産性向上推進リーダー」の育成
- ・利用者の状態変化の迅速な把握と適切なケア改善、医療連携の推進

重点事項<事業・サービス戦略>

選ばれる施設・事業所

- ・暮らしの楽しみ・喜びを感じられるアクティビティの提供
- ・最新の知識と科学的根拠(データ・ガイドライン等)に基づくケアの提供
- ・介護・看護・医療の連携強化(カンファレンス・勉強会の定例化)

重点事項<財務戦略>

全事業所の目標収益・目標利益の固守

- ・管理者以上及び総務課事務員が管理会計・財務マネジメント力を基礎から身につける
- ・業績悪化リスクの早期発見と迅速な経営改善計画の策定と着手
- ・施設毎の経費分析(事務費・事業費)と改善のPDCA化
- ・原価に基づく利用料・自己負担金の設定

重点事項<人材・人事・組織>	重点事項<介護DX・生産性向上>	重点事項<事業・サービス戦略>	重点事項<財務戦略>
<p>自らが参画する働きやすく、働きがいのある職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> モチベーション向上につながる処遇改善の実施 多様で柔軟な働き方環境の拡充(フレックスタイム、年単位変形労働時間制、副業制度など) 施設長と職員の1on1ミーティングの実施 定期面談制度の見直し(3人以上半数以下は、主任・課長等が実施) 職員の声を経営に生かす意見交換会(経営幹部と職員、テーマごと)の実施 働きがい増進に結びつく表彰制度の拡充(良い挨拶賞、素晴らしいで賞、サンクス賞、チャレンジ賞など) 	<p>社内業務の見える化・仕組み化・標準化によるムリ・ムラ・ムダのない業務体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> タイムスタディによる業務の現状把握・分析と非効率なポイントの特定 職員が主導する業務改善活動の実施(業務改善提案制度の創設、カイゼンシートの導入、業務改善アワード、成功事例共有など) 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけく規律)、3M活動(ムリ・ムダ・ムラの排除)に実施 人員配置の見直しと最適化 	<p>在宅サービスの利用者数の増加と稼働率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 団塊世代向けの新サービス(健康増進・認知症予防・趣味活動・ICT活用)の開発と魅力ある事業所づくり 「短期・通所・訪問」各サービスの旭川市への市場拡大 特養・GH・サ高住待機者の確保と適正なベッドコントロール 町外のニーズ掘り起こし、効果的なPR、居宅・地域包括支援センター・医療機関等の連携強化 	<p>適切なケアプランに基づく加算の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> 加算取得状況の可視化(取得している加算、取得できるが取得していない加算、取得できない加算) 取得可能な加算取得のための計画策定(活動計画への落とし込み)
<p>個々の強みを生かした、成長し続ける人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会活動・プロジェクト活動の推進 自主的な学びと業務活動への支援 人事異動・配置転換によるスキルアップ 実践や成果につながる研修制度の見直し 		<p>既存事業・委員会の強化・拡張及び新規事業開発の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問介護事業所・居宅介護支援事業所の町外進出とモデル事業所の企画 地域の福祉課題の発掘・可視化と新たな事業の創出 広報委員会の活動拡充。インスタ・ホームページを活用した情報の発信 	<p>利益の適正な分配</p> <ul style="list-style-type: none"> 透明性のある業績手当制度の設計と導入検討 企業型拠出年金・財形貯蓄制度などの福利厚生導入検討と老後資産形成の支援 限定正社員制度の賃金改善の検討
<p>基本と規律を大切に、理念を実践する組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本理念・行動指針の明確化と、それに共感・共鳴する職員の育成 職務内容記述書の整備 理念具体化のために、学習・挑戦、成果に対する評価(公正で納得性の高い人事制度構築) 鷹栖さつき苑40周年記念事業の企画準備実施 		<p>安心・快適な居住環境の整備と防災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 鷹栖さつき苑の大規模修繕・リノベーション工事の実施 (仮称)鷹栖さつき苑リノベーションプロジェクトチームの設置 各施設の中長期修繕計画(資金計画含む)の策定 地域住民と連携した防災計画と訓練の実施 	

1 第7次中期経営3か年計画 基本方針

社会福祉法人さつき会は、創設以来「良いケア・良い職場・良い経営」の精神を大切に、地域福祉の発展に尽力してきた。令和7年度を迎えるにあたり、社会環境や福祉・介護業界を取り巻く状況は大きく変化し、私たちはこれまで以上に柔軟な対応と進化が求められている。

第7次中期経営3か年計画では、「持続的な成長を実現する法人経営」と「より質の高い福祉介護サービスの提供」を両輪とし、未来に向けた基盤強化と新たな価値創造を目指し、以下の6つの基本方針を掲げ、成長戦略を力強く推進する。

1. 次世代の経営を担う人材を育成する。
2. すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
3. 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
4. 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
5. 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
6. 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2 令和7年度 全事業所職場目標

『自ら学び 自ら考え 自ら動く』

【自ら学び】

専門職・職業人としてのプロ意識を持ち、常に最新の知識・技術・考え方を積極的に学び、実践する。継続的な学びを通じて自己成長を促し、自らの仕事に誇りを持つことで、施設の事業活動推進と法人の発展に貢献する。

【自ら考え】

与えられた業務をただこなすのではなく、「どうすればより良いケア・サービスが提供できるか？」を常に意識する。目の前の課題には「自分ならこうする」という主体的な意見や提案を持ち、自ら考える姿勢を習慣化することで、生産性向上とサービスの質向上に貢献する。

【自ら動く】

学び、考えたことを迅速に実践へ移し、より良い職場環境とサービスの創出につなげる。主体的に行動し、チームの一員として互いに協力しながら、法人全体の成長と発展に貢献する。

3 令和7年度 事業活動のポイント

本年度は、次世代の経営を担う人材の育成、生産性向上推進を担うリーダー育成、職員の働きがいと成長の増進、そして全事業所の目標収益固守を重点課題として掲げ、より質の高いケアの提供と持続可能な経営基盤の確立を組織一丸となって取り組む。

(1) 人材・組織の強化

重点事項	取り組み事項	成果指標
主体性と経営視点を備えた次世代経営幹部の育成	(ア) 法人の持続的成長には、「ケアと経営（マネジメント）」の両方の視点を持ち、組織を牽引できる次世代の経営を担うリーダーの育成が不可欠である。経営戦略・組織マネジメント・課題解決力・リーダーシップを養う実践的な研修を年4回以上実施するとともに、外部研修や他法人との交流を通じ、広い視野を持つ人材の育成を図る。	研修参加率 80%以上 次世代の経営を担う人材育成3名以上
自らが参画する働きやすく、働きがいのある職場づくり	(ア) 「介護職員等処遇改善加算」を活用し、職員のモチベーション向上につながる処遇改善を図るとともに、キャリアパスと給与制度の見直しに着手する。 (イ) 柔軟な働き方推進と職員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる環境を整えるため、フレックスタイム制拡充、年単位の变形労働時間制を導入し、働き方の選択肢を広げる。さらに、副業制度創設を通じて職員のスキル向上やキャリアの多様化を支援し、ワークライフバランスの充実を通じて、職員の満足度向上を図る。 (ウ) 職員一人ひとりの成長と働きがいをも高めるため、施設長と職員が定期的に 1on1 ミーティングを実施する。 (エ) 定期面談制度を一部見直し、主任・課長が一般職・総合職等の面談を実施し、職員の意見や提案を直接聞くことで、現場の課題解決や職場環境の改善につなげる。 (オ) 感謝や称賛を可視化し、働く喜びを共有することで、組織全体のモチベーション向上と成長につなげるために、職員表彰制度を拡充する。	離職率 5%以下 日本人の新卒者採用1名以上 外国人介護人材就労率 10%以上 職員の職場満足度 70%以上

<p>個々の強みを生かした、成長し続ける人づくり</p>	<p>(ア) 職員一人ひとりが主体的に関わる委員会活動・プロジェクト活動を通じて、課題解決に取り組むとともに、全職員が協力し合い、組織全体の発展に貢献できる仕組みを整備する。</p> <p>(イ) 職員による自主的な学びと業務改善活動に活かすことを支援する環境を整備する。</p> <p>(ウ) 人事異動・配置転換（ジョブローテーション）を積極的に実施し、職員の能力開発・部門間の連携推進と業務の属人化防止を図る。</p> <p>(エ) 研修内容の見直しを行う、座学中心の学習から、現場での実践的なケーススタディを取り入れたプログラムへと進化させるとともに、研修後のフォローアップを強化し、学んだことを確実に現場で活かせる仕組みを構築する。</p> <p>(オ) 対人援助による感情労働の職種が多い事業特性を踏まえて、ストレスマネジメント研修の実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進を通じて、安心と希望を持ち長く働ける職場環境を持続する。</p> <p>(カ) プロフェッショナルな介護福祉従事者の安定確保を図るため、介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等の資格取得及び外国人介護福祉人材の介護職員初任者研修取得・語学力向上を推進する。</p>	<p>自主的な業務改善活動 30%以上</p> <p>リフレッシュ休暇7日以上</p> <p>外国人介護職員初任者研修1名以上</p>
<p>基本と規律を大切にし、理念を实践する組織づくり</p>	<p>(ア) 法人の理念や行動指針を明確に示し、全職員がその意義を深く理解し、日々の業務に反映できる環境を整備する。</p> <p>(イ) 職員一人ひとりが自らの役割を理解し、責任を持って業務に取り組めるよう、職務内容記述書（ジョブディスクリプション）を整備する。</p> <p>(ウ) 法人の基本理念・ビジョンに共感・共鳴し入職を志す職員を採用するため、新規学卒者及び転職者希望者を対象とした、合同企業説明会に参加するとともに、法人独自の入社説明会・インターンシップを開催する。また、若手職員を巻き込みながらSNS・オンラインによる法人の魅力発信を日常化し、LINE・オンライン等による求職者からの質問・申込みに対応する。</p>	<p>全事業所行動指針・月間目標作成率 100%</p> <p>日本人の新卒者採用1名以上</p>

(2) 介護DX推進・生産性向上

重点事項	取り組み事項	成果指標
<p>介護 DX・ICT 活用による業 務改善とサー ビスの質向上</p>	<p>(ア) 生産性向上推進委員会を中心に、現場の声を反映しながら、ICT、介護ロボット、AI、業務支援システムなどの先進技術を積極的に活用し、業務の効率化を図るとともに、職員の負担軽減とサービスの質向上を図る。</p> <p>(イ) 法人全体の生産性向上と業務改善を推進するため、各部署・施設においてリーダーシップを発揮できる「生産性向上推進リーダー」を育成する。</p> <p>(ウ) ICT・データ等を活用したケアにより、利用者の状態変化を迅速に把握と医療連携を強化し、早期対応や予防的アプローチを推進する。</p>	<p>眠りスキャン・カメラ・センサー・インカム・Wi-Fi ナースコール等の整備率50%</p> <p>デジタル中核人材養成研修受講者5名以上</p> <p>全ての業務時間を10%以上削減、紙文章の電子保存化50%以上</p>
<p>社内業務の見える化・仕組み化・標準化によるムリ・ムラ・ムダのない業務体制構築</p>	<p>(ア) 業務の効率化と生産性向上を図るため、「タイムスタディ」を実施し、各業務の所要時間やプロセスを詳細に把握・分析する。得られたデータを基に、業務フローの最適化、業務分担の見直し、不要な業務の削減を図る。</p> <p>(イ) 「業務改善提案制度」を創設し、日々の業務における課題や改善策を積極的に提案できる仕組みを整備する。また、「カイゼンシート」の導入により、改善のプロセスを可視化し、継続的な改善を支援する。さらに、「業務改善アワード」を実施し、優れた取り組みを表彰することで、職員の意欲向上と組織全体の改善文化を根付かせる。</p> <p>(ウ) DX・ICTの活用や業務プロセスの見直しにより、人員配置の見直しと最適化を図る。</p>	<p>自主的な業務改善活動30%以上</p>

(3) 事業・サービスの拡充

重点事項	取り組み事項	成果指標
<p>選ばれる施設・事業所</p>	<p>(ア) 利用者が楽しみ充実した日々を過ごせるよう、各施設・事業所において「アクティビティ活動」を担う委員会・係りを明確に取り決め、企画・実施する。</p> <p>(イ) 多職種協同によるエビデンスに基づくケア（トータルケア）の考え方と医療・介護の最新データやガイドラインを活用しながら、ケアの質を向上させる。</p> <p>(ウ) 多職種による定期的な勉強会・カンファレンスを通じて職員の専門性を高め、科学的アプローチに基づいた支援を実施する。</p> <p>(エ) 自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より安全に食べること」を実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図るとともに、適正な予算の下に給食サービス業務が行われるよう新食事サービスシステムの導入を図る。</p> <p>(オ) 職員が地域へ出向き介護講座やサロンの開催や、集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り、地域を学び安心できる地域づくりに貢献する。</p>	<p>介護過程の実施率 80%以上</p> <p>食事の満足度（全体的な内容） 80%以上満足</p>
<p>在宅サービスの利用者数の増加と稼働率向上</p>	<p>(ア) 団塊世代をターゲットにした健康増進・認知症予防・趣味活動・ICT 活用を柱とした新たなサービスを開発し、魅力ある事業所づくりを推進する。</p> <p>(イ) 増大する旭川市の介護ニーズを的確に捉え、新たな利用者の獲得に向けた広報・連携の強化により、短期入所、通所介護、訪問介護の提供体制を強化し、旭川市内での市場拡大を図る。</p> <p>(ウ) 特養ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅の待機者管理を強化し、適正なベッドコントロールを実施する。</p> <p>(エ) 町外の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関との連携を強化し、円滑な情報共有と支援体制の構築を図り、新たな利用者の開拓を推進する。</p>	

<p>既存事業・委員会の強化・拡張及び新規事業開発の検討</p>	<p>(ア) 今後の事業展開の指標となる「訪問介護・居宅介護支援事業所の町外進出モデル事業所」の企画づくりを実施する。</p> <p>(イ) 地域社会が抱える福祉課題は多様化・複雑化しており、従来の介護サービスだけでは十分に対応できない課題も増えている。さつき会は、社会福祉法人として、介護にとらわれず、子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者など、幅広い視点で地域の福祉ニーズを発掘・可視化し、包括的な支援体制の構築を検討する。</p> <p>(ウ) 広報委員会の役割を強化し、法人の取り組みや施設の魅力をより多くの方に伝えるため、情報発信の手法を拡充する。特に、ホームページの充実やインスタグラムなどの SNS を活用し、リアルタイムな情報提供や利用者・地域との双方向のコミュニケーションを促進する。これにより、法人の認知度向上、採用活動の強化、地域とのつながりの深化を図る。</p>	<p>インスタグラムの開設と質の高いコンテンツ発信 年 365 回以上 フォロワー数 500 人</p>
<p>安心・快適な居住環境整備と防災対策の推進</p>	<p>(ア) 鷹栖さつき苑は、施設の老朽化や利用者ニーズの変化に対応するため、大規模修繕・リノベーション工事を実施する。これにより、居住環境の快適性を向上させるとともに、職員の働きやすさも考慮した施設づくりを推進する。</p> <p>(イ) 本工事を円滑かつ効果的に進めるため、経営者・職員の代表者や建築専門家を中心とした「(仮称) 鷹栖さつき苑リノベーションプロジェクトチーム」を設置する。本チームは、利用者・職員の意見を反映した設計・計画の策定、施工管理、運用体制の整備を担い、施設の価値向上に向けた取り組みを推進する。</p> <p>(ウ) 鷹栖なごみの家・ぬくもりの家えん・サ高住たかほの老朽化対策と快適な環境の維持・向上を目的に、中長期的な修繕計画を策定する。また、修繕費用の適正な見積もりと財源の確保を行い、資金計画と一体化した運用を推進することで、持続可能な施設運営を実現する。</p> <p>(エ) 災害・感染症の業務継続計画（BCP）に基づき、災害時に必要な能力を身につけられる研修を全ての事</p>	

	業所・部署において実施する。 (オ) 地域住民との協同による定期的な防災訓練を実施し、災害時の対応力を強化するとともに、地域との協力体制を構築し、共に支え合う防災ネットワークを形成する。	
--	--	--

(4) 財政基盤の安定

重点事項	取り組み事項	成果指標
全事業所の目標収益・目標利益の固守	<p>(ア) 主任以上の役職者および総務課事務員は、経営視点を持ち、目標収益確保・適正利益確保に貢献できるよう管理会計と財務マネジメント（財務指標の分析、コスト管理、予算策定・運用の知識等）を基礎から習得する。</p> <p>(イ) 定期的な財務分析や業務データのモニタリングを強化し、業績悪化の兆候を早期に察知し、迅速に対応する。</p> <p>(ウ) 各施設における経費（事務費・事業費）の詳細な分析を行い、コスト構造を可視化することで、無駄の削減や効率的な資源配分を推進する</p> <p>(エ) 各サービスの食事代・エネルギー等にかかる原価を的確に把握し、適正な利用料や自己負担金を設定する。</p>	<p>サービス活動収入 800,000千円以上</p> <p>サービス活動増減差額 10%以上</p> <p>人件費率 64%以下</p> <p>経費率（事務費・事業費） 26%以下</p> <p>施設整備等積立金 年 30,000千円以上)</p>
適切なケアプランに基づく加算の取得	<p>(ア) より質の高いサービスを提供と持続可能な経営基盤を両立するために取得可能な加算を最大限活用することが重要である。現在取得している加算、取得可能でありながら未取得の加算、制度上取得が難しい加算を分類・整理し、可視化することで、適切な加算取得の推進を図る。</p> <p>(イ) 各事業所において、制度改正や最新の加算要件を正確に把握し、適用可能な加算を洗い出した上で、計画的に取得を進める。具体的には、加算取得に必要な要件を満たすための職員教育や業務フローの見直し、ICT・DXの活用を推進し、日々の業務プロセスに落とし込むことで、着実な運用を図る。</p>	<p>取得できる加算の取得率 80%</p>

利益の適正な分配	<p>(ウ) 職員一人ひとりの「より良い施設運営・法人経営」への貢献を適正に評価し、働きがいを高めるため、透明性のある業績給・業績手当制度等の設計・導入を検討する。</p> <p>(エ) 職員の将来の安心と生活の安定を支援するため、企業型拠出年金や財形貯蓄制度などの福利厚生を導入を検討する。資産形成に関する相談や研修の機会を設け、制度の理解を深めるとともに、一人ひとりの将来設計を支援する。</p> <p>(オ) 多様な働き方を支援し、職員の定着率向上とモチベーション向上を図るため、限定正社員制度の賃金体系の見直しを検討する。</p>	基準昇給率 2% 以上、実質昇給率 1.5% 以上
----------	---	---------------------------

3 計数計画（事業活動収入）

単位:千円

事業所	令和6年度 当初予算	令和7年度 当初予算	差異	予算上の 積算根拠	業績管理上の 目標値
法人本部	6,973	7,005	32		
特養ホーム鷹栖さつき苑	230,147	232,404	2,257	稼働率96%	稼働率98%
ショートステイ	33,941	32,415	-1,526	稼働率85%	稼働率90%
デイセンターさつき苑	65,498	78,201	12,703	1日平均30名	1日平均30名
介護センター	32,861	32,861	0	利用者平均215名	利用者平均220名
GHなごみの家	89,456	90,334	878	稼働率97%	稼働率98%
SHなごみの家	66,652	66,431	-221	登録者平均22名	登録者平均24名
特養ホームぬくもりの家えん	108,151	107,391	-760	稼働率97%	稼働率98%
SHぬくもりの家えん	66,494	66,494	0	登録者平均22名	登録者平均24名
サービス付き高齢者向け住宅 ぬくもりの家たかほ	30,239	30,448	209	稼働率97%(17.5名)	稼働率98%(17.6名)
ヘルパーステーション	36,008	36,008	0	月間訪問830件	月間訪問930件
地域介護予防活動支援事業	4,739	4,434	-305		
地域リハビリテーション活動支援事業	1,535	1,458	-77		
介護予防普及啓発事業	4,358	4,358	0		
認知症総合支援事業	370	352	-18		
地域交流スペース運営事業	293	291	-2		
在宅医療・介護連携推進事業	22	22	0		
合計	771,583	790,907	19,325		

4 第7次中期経営業績計画

事業所名	7 計画	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	6 実績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
特養ホームさつき苑稼働率	7 次計画	98.0%	98.0%	98.0%
	6 次実績	95.7%	99.6%	96.0%
ショートステイ稼働率	7 次計画	95.0%	95.0%	90.0%
	6 次実績	77.7%	85.1%	77.7%
デイセンター1 日平均利用者	7 次計画	30 人	34 人	40 人
	6 次実績	21.5 人	23.2 人	29.6 人
介護センター年間平均利用者実人数	7 次計画	223 人	230 人	240 人
	6 次実績	189 人	191 人	201.9 人
グループホーム稼働率	7 次計画	98.0%	98.0%	98.0%
	6 次実績	99.0%	99.7%	95.1%
小規模多機能なごみの家 年間平均登録者人数	7 次計画	24 人	24 人	24 人
	6 次実績	22.4 人	19.8 人	19.8 人
特養ホームぬくもりの家えん稼働率	7 次計画	98.0%	98.0%	98.0%
	6 次実績	92.9%	96.5%	95.6%
小規模多機能ぬくもりの家えん 年間平均登録者人数	7 次計画	24 人	24 人	24 人
	6 次実績	22.3 人	22.8 人	21.8 人
サービス付き高齢者向け住宅稼働率	7 次計画	94.4%	94.4%	94.4%
	6 次実績	99.1%	99.3%	96.0%
ヘルパーステーション 月間延べ訪問回数	7 次計画	830 回	900 回	1,000 回
	6 次実績	831 回	864 回	742 回

5 組織機構

別紙1「組織機構図」のとおり

6 要員計画

期首人員 157 名（正職 93 名、パート 64 名）

期末人員 164 名（正職 97 名、パート 67 名）

(1)新規学卒者（専門学校/在留介護）の介護職員を1名採用（補充）する。

(2)新規の特定技能3名・技能実習生2名を採用（補充）する。

7 部門別事業計画書

別紙2「事業計画書（部門計画）」のとおり

8 年間行事・研修予定・ブログ当番表

別紙3「令和7年度 行事・研修予定表」「令和7年度 ブログ当番表」のとおり

9 収支予算書

別紙4「資金収支予算書（当初）」「事業活動計算書（当初）」のとおり

事業所名(部署)

法人本部

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 職員の成長を実感できる研修の運営。
- (2) 外国人スタッフが安心して地域に住み働くことができる環境をつくる。
- (3) 働きやすく、働きがいのある職場づくりと多様なリクルート活動の展開。
- (4) 介護ロボット・ICTの活用により介護の質の向上と生産性の向上。
- (5) 制度・法令の遵守と安定した法人運営。
- (6) 次世代経営幹部の育成
- (7) 特養さつき苑大規模改修、リノベーションに向けた取り組みと中期修繕計画の策定

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	職員の成長とレベルアップを図るための研修の企画と実施。 職員台帳の管理。	①社内研修の計画・実施・管理(<u>ハラスメント、チームビルディング、セルフケア、ストレスマネジメント、フォローアップ研修など</u>) ②基礎介護力向上研修の運営と研修内容の見直し。 ③人材育成システムを活用した職員研修・資格管理。 <u>(職員台帳の整備、人材育成システムの更新)</u> ④ <u>エルダー指導項目の見直し。</u>	継続	尾上	各担当
2	(2)	外国人人材の受入れ及び定着を支援する。	①外国人スタッフの日常生活と仕事をサポートするための外国人サポートチーム(B-Pro)の運営。 ②初任者研修の受講推進と介護福祉士試験サポート。 ③技能実習生の受入・サポート。 <u>(目標新規採用3名)</u> ④ <u>特定技能介護の新規受け入れ・サポート。(目標新規採用3名)</u> ⑤ <u>外国人受入れ・定着に関する情報収集。</u>	新規/継続	尾上	佐藤 B-pro メン バー
3	(3)	リクルート・広報活動の充実・推進。	①SNS(LINE、ブログ、FB)の。定期的な更新と管理。フェイスブックとインスタグラムの連携。 ②ホームページの運用・リニューアル。③多様な求人活動の展開・実施(オンライン就職説明会の開催、 <u>インターンシップの受入れの仕組みをつくる。</u>)	新規/継続	尾上	

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
4	(3)	計画的な人材確保と多様な働き方に対応できる職場環境づくり	①適正人員の確認と要員計画にもとづいた採用 ②社内副業制度の創設 ③限定正職員制度の見直しと拡充	新規	施設長	部長
5	(3)	働きやすく働きがいのある職場づくりと法人のブランディング戦略推進。	①働きやすい職場づくりと法人のブランディング戦略の推進(くるみん、えるぼし認定の取得) ②労働者の各種制度の情報提供と活用の推進。 ③同一労働同一賃金への対応と業務記述書の整備。 ④ハラスメント対策の取り組み推進。	新規/継続	尾上	舟根
6	(4)	介護ロボット・ICTの推進により業務の効率化と生産性の向上。	①介護情報システムの効果的な活用。 ②最新のICT機器の情報収集と導入と活用促進、効果検証。 ③デジタル中核人材の育成 ④ICT活用促進のためのわかりやすいマニュアル作成。	継続	尾上	佐藤
7	(5)	関係法令の遵守と社内規程等の整備・更新	①制度改正の情報収集(社労士・税理士との情報交換、研修会の参加)と対応。 ②介護保険制度改定の情報収集と対応。 ③新制度・制度変更内容等の職員へわかりやすい周知。	新規	尾上	各課長 総務課
8	(6)	次世代経営幹部候補の育成	①さつき会の未来を考え、未来を創る勉強会の定例開催(2か月1回) ②先進施設視察による情報収集と改善活動の推進 ③施設長との1on1ミーティングの実施 ④マネジメント・経営に関する研修の実施と外部研修への参加	新規	施設長	部長
9	(7)	鷹栖さつき苑の大規模修繕・リノベーションに関わる基本構想の策定	①大規模修繕・リノベーションに向けた情報収集とコンセプト・設計・資金計画等の策定 ②補助金申請の準備(老人福祉施設等整備事業費交付金、介護サービス提供基盤等整備事業費交付金等)	新規	施設長	部長 舟根
10	(7)	中長期的な修繕計画の策定	①なごみの家、ぬくもりの家えん、ぬくもりの家たかほの修繕計画の策定(資金計画含む) ②活用できる補助金の調査(老人福祉施設等整備事業費補助金、介護サービス提供基盤等整備事業費補助金)	新規	尾上	舟根

事業所名(部署)

総務課

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 笑顔とやさしさ・思いやりのある心のもった窓口対応に努める。
- (2) DX推進とスタッフの協働・連携により生産性を向上しサービスの質向上に努める。
- (3) 働きやすく働きがいのある職場環境づくりの推進。
- (4) 健全経営の推進。

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	接遇と施設環境の整備向上	<u>①電話対応・接遇マニュアルの更新と研修実施により、心温まるおもてなしの向上。</u> <u>②5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底。</u> <u>③正面玄関、大ホールの季節に合わせたしつらえの質向上。</u>	新規/継続	舟根	佐藤
2	(2)	仕事の見える化・生産性の向上とサービスの質向上	<u>①既存のシステムの活用(TKC/ほのぼの)と生産性向上を目指したDX化(電子決裁、勤怠管理)の推進。職員が運用しやすいようにわかりやすいマニュアル作成と丁寧な職員相談対応。</u> <u>②日用品購入の一元化。</u> <u>③ペーパーレス推進(会議関係書類の電子化、文書保存から電子保存への切り替え)</u> <u>④請求書・領収書の電子化</u> <u>⑤各業務のマニュアル化</u>	新規/継続	尾上	小鷲
3	(3)	働きやすく・働きがいのある職場づくりの推進	<u>①課内の有給休暇の計画な取得を推進する(目標取得率40%※R6年度 38.1%)。</u> <u>②衛生委員会を定期開催し、事故の予防と職場環境の向上を図る。</u> <u>③多様な働き方のための制度活用の情報発信と相談対応。</u> <u>④大ホールの職員休憩スペースの環境改善・向上。</u> <u>⑤働きがいに関する職員からの意見・要望等の把握</u> <u>⑥緊急時等における介護現場のサポート(移送、食事介助など)</u>	新規/継続	尾上	小鷲

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
4	(3)(4)	職員の資質向上のため研修受講・資格取得並びに課内会議・課内研修の定期開催	①総務課全体または個人の目標に合わせた外部研修への参加や他施設見学によりチームおよび個々の成長を目指す。 ②定期的に課内研修(総務課の仕事の目的・目標の共有、チームワークの向上、伝達研修など)を開催する。	継続	尾上	舟根
5	(4)	会計事務の適正処理	①経理規程に基づき、適正な事務処理を行う。 ②効率的な会計事務について提案・実行を図る(ネット購入、クレジット払い、自動引き落としの活用等)。	新規/継続	佐藤	舟根
6	(4)	経営分析と対策の検討・実施と補助金の活用	①定例の課内会議における月次の収支状況の確認・経営分析と対策の検討 ②補助金等をリスト化し、基本資料の準備と計画的な活用 ③コストの見える化による意識向上。 ④目標:全事業所事業活動収支差率10%(R5決算12.4%、R6決算見込10.9%)、経費比率(事務費・事業費)26%以下(R5決算28.6%、R6決算見込29.3%)。	新規	尾上	舟根 佐藤
7	(4)	災害対策・感染症対策の推進	①防災用品・備蓄品・災害機器の完備及び各種災害訓練の実施。 ②地域住民・行政等との連携による、実効性のある災害対策の組織を構築。 ③感染症対応事務の推進及び感染症対策物品の確保・整備。 ④BCPに基づいた非常時の訓練を実施。	継続	尾上	小 寫 山 本

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 総務課

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容			
1	(1)	接遇と施設環境の整備向上	①おもてなしの心を表すため、接遇対応の向上を図る。(接遇研修の継続) ②毎週実施している、特養さつき苑正面玄関及び大ホールの清掃並びに環境整備を継続して行う。	舟根 藤	計画 ・定期点検年間スケジュール作成 ・総務課椅子の入れ替え	実施 大ホール用大型扇風機の購入 一斉清掃	制限保管場所の確保 大ホールに大型扇風機を設置	・環境点検実施 ・接遇研修の実施	接遇マニュアル電話対応マニュアルの作成・更新	一斉清掃				年末大掃除						①定期点検を実施し、事故等の未然防止、入居者・利用者様への影響軽減を図る。 ②内外部に対して気持ちのよい接遇ができる。			
2	(2)	仕事の見える化・生産性の向上とサービスの質向上	①既存のシステムの活用(TKC/ほのぼの)と生産性向上を目指したDX化(電子決裁、勤怠管理)の推進。職員が運用しやすいようにわかりやすいマニュアル作成と丁寧な職員相談対応。 ②ペーパーレス推進(会議関係書類の電子化、文書保存から電子保存への切り替え) ③請求書・領収書の電子化 ④各業務のマニュアル化	課長	計画 ・アスクル発注(月1回)行事予定表の自動入力フォーム作成 各パソコンのメール、各種設定	実施 ・TKCシステムの活用(向い書)①アイ社内文書の電子化ルール策定	社内保管文書の電子化作業開始 事業報告・計画のファイル電子化 電子化保存	日用品購入の一元化(なごみ)	日用品購入の一元化(えん)	日用品購入の一元化(たかほ)										事務機器・ICTを活用し業務の効率化・合理化を図る。 日用品購入を総務課対応に一元化する社内サーバーを集約する 社内保管文書の電子化(目標:50%) 電子決済・回覧を導入し運用を標準化する。			
3	(3)	職員全体研修会の企画運営	①職員全体研修を体系化し、確実に実施する(交通安全研修・メンタルヘルス研修・ハラスメント研修、接遇研修・職員育成研修等)。	課長	計画 ・職員全体会議開催	実施	・ストレスチェック実施	カスタマーハラスメント研修	・交通安全研修開催			パワーハラスメント研修	・研修計画推進状況確認	・ストレスチェックに基づく研修実施	次年度研修計画策定			サービス向上発表会			研修の実施とアンケートによるふりかえりにより研修効果を高める		
4	(3)(4)	職員の資質向上のため研修受講・資格取得並びに課内会議・課内研修の定期開催	①総務課全体または個人の目標に合わせた外部研修への参加や他施設見学によりチームおよび個々の成長を目指す。 ②定期的に課内研修(総務課の仕事の目的・目標の共有、チームワークの向上、伝達研修など)を開催する。	課長	計画 ・課内会議・外部研修計画について	実施 課内研修	課内研修	課内研修	課内研修	課内研修			課内研修	課内研修	課内研修	課内研修 ・予算確保に向けた打合せ	課内研修	課内研修			①職員研修により個とチームの質が向上する。 ②業務に必要な資格取得に関する情報を得ることができる。		
5	(4)	経営分析と対策の検討・実施と補助金の活用	①定例の課内会議における月次の収支状況の確認、経営分析と対策の検討 ②補助金等をリスト化し、基本資料の準備と計画的な活用 ③コストの見える化による意識向上。	課長	計画 ・課内会議・研修希望確認	実施 課内会議	課内会議	課内会議	課内会議	課内会議			課内会議	課内会議	課内会議	課内会議 ・予算確保に向けた打合せ	課内会議	課内会議			総務課職員が各担当業務の中でコスト削減を提案し実施する。 全事業所事業活動収支差率10%(R5決算12.4%、R6決算見込10.9%)、経費比率(事務費・事業費)26%以下(R5決算28.6%、R6決算見込29.3%)。		
6	(4)	災害対策・感染症対策	①防災用品・備蓄品・災害機器の完備及び各種災害訓練(非常連絡網確認訓練各拠点年2回)の実施する。 ②地域住民・行政等との連携による、実効性のある災害対策の組織構築を行う。 ③感染症対応事務の推進及び感染症対策物品の確保・整備を図る。 ④BCPIに基づいた非常時の訓練を実施する。	課長	計画	実施	・災害訓練の実施①	・防災用品、感染症対策物品の確認①	・地域住民との連携協定締結	・自然災害避難訓練検討			・災害訓練の実施②	・防災用品、感染症対策物品の確認②	・防災用品、感染症対策物品の確認③						①災害に備え、防災用品等を整備する。 ②大規模災害に備え、地域住民との連携組織体制の構築 ③非常災害時に必要な物品を常備・点検する。 ④非常災害訓練を計画通り実施する。		

事業所名(部署)

特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。
- (2) ご入居者の生き活きたくらしづくりと、ご家族や地域とのつながりを大切にし、積極的に交流の機会をもつ。
- (3) 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。
- (4) 新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。
- (5) 業務の効率化を図るためDX・ICT化の推進と業務マニュアルの整備。新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。
- (6) 適正利益の確保と安定した運営

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。	①多職種で排せつ、食事の関係をしっかりと把握し、褥瘡や体調不良を要因分析と対応を強化し、症状の重症化を予防に努める。(目標:排せつ加算、褥瘡マネジメント加算、口腔衛生管理加算を積算する) ②多職種によるカンファレンスを速やかに開催し根拠に基づいた要因分析と対応策をたてケアを実践。(目標:年間入院日数250日以内) ③リハビリテーション、機能訓練、口腔ケア、栄養を一体的に行い、重度化の予防を行う。 ④重度化、緊急時対応のため、医療との連携を強め穏やかに活が最期まで生活が継続できるように努める。	継続	課長	主任
3	(2)	自立支援を視点におき、生き活きと暮らせる生活と環境を創る。	①担当スタッフが入居者個別に課題分析、計画の立案、目標に向けたケア(介護過程)を展開しQOL及びADLの向上を目指す。 ②アクティビティ(個別での外出、季節行事、レクリエーション活動、散歩など)を行い、スタッフも一緒に楽しめるイベントを計画的に実施する。 ③施設内環境の整理・整頓・清潔を徹底し、また季節感を感じられる潤いある環境をつくることで、ご利用者が安心して落ち着いて暮らせる環境をつくる。	継続	リーダー	主任

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
4	(3)	口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。	①健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事)	継続	栄養士	主任
5	(3)	入居者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践する。	①毎月の体重の増減を確認し、改善策を都度リーダーに提案・実施。 ②食事量、水分量、排泄状況のケアを毎週行い、食を通じたアプローチを提案・実施。 ③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。 ④食事量低下時における対応を柔軟に行い、食事量を戻す取り組みを行う(補助食品の見直し、食形態の見直し、嗜好品の取り入れ) ⑤超高齢期、ターミナル期の食事のあり方を検討し、画一的ではなくその人に合わせた食事提供を行う。	継続 新規	栄養士	主任
6	(3)	給食委託業者との連携強化。	①衛生管理及び給食設備を定期的に確認し、食中毒の予防。 ②委託業者との情報交換、協力体制を密にするため、毎日のミーティングと月1回の給食運営会議を実施。 ③よりおいしい食事の提供をめざし、新たな食材の導入の検討と厨房の業務(調理行程など)の効率化。 ④委託契約額の適正化。	継続	栄養士	主任 課長
7	(5)	スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上。	①全職種、全職員を対象とした研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力の向上を図る。 ②学んだ知識を日常のケアで実践できる力を付ける。	継続	課長	主任
8	(4)	ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。	①家族と交流できる行事の再開。 ②家族・地域へ情報発信し、連携を高めていく。	継続	各担当	リーダー
10	(5)	チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、適切な人材の確保を目指す。	①有給休暇(5連休)の計画的付与を継続。 ②各職員の役割を明確にし、自ら考え、責任を持って行動する。互いのことを思いやり協力する職員集団となる。 ③実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。 ④外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する。 ⑤技能実習生・外国人職員の介護能力と語学力向上を積極的に行う(介護福祉士合格)	継続 新規	課長	主任
11	(5)	業務の効率化を図るためDX・ICT化の推進と業務マニュアルの整備	①現在担当となっている業務をマニュアル化し整理する。 ②記録のIT化によって生じた時間を有効に活用していく。 ③物品の配置と個数を整理し、整理整頓され効率性のある環境をつくる。 ④更にICT化、介護ロボットを導入し、介護負担の軽減を更に図っていく。	継続 新規	課長	主任
12	(7)	適正利益の確保と安定した運営。	①入院者数の減少、入退居の迅速な手続きにより空床を減らし稼働率の維持、向上を目指す。(目標年間稼働率98%以上、入退居時の空床日数平均7日間以内) ②排泄ケア加算、褥瘡ケア加算等、ターミナルケア加算、口腔衛生管理加算を評価、実践し取得する。 ③目標事業活動収入:242,792,269_円	継続	課長	主任

事業所名(部署)

鷹栖町ショートステイ さつき苑

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。
- (2) ご入居者の生き活きたくらしづくりと、ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。
- (3) 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。
- (4) 新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。
- (5) 業務の効率化を図るためDX・ICT化の推進と業務マニュアルの整備。新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。
- (6) 適正利益の確保と安定した運営

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。	①ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実践し病気の重症化や再発を予防と業務の効率化を図る。 ②多職種で排せつ、食事の関係をしっかりと把握し、褥瘡や体調不良を要因分析と対応を強化し、症状の重症化を予防に努める。(目標:排せつ加算、褥瘡マネジメント加算、口腔衛生管理加算を積算する) ③多職種によるカンファレンスを速やかに開催し根拠に基づいた要因分析と対応策をたてケアを実践。 ④リハビリテーション、機能訓練、口腔ケア、栄養を一体的に行い、重度化の予防を行う。 ⑤重度化、緊急時対応のため、医療との連携を強め穏やかに活が最期まで生活が継続できるように努める。	継続	課長	主任
2	(2)	自立支援を視点におき、生き活きと暮らせる生活と環境を創る。	①在宅生活継続の課題を明確にし、短期入所の中で在宅生活を踏まえた自立支援を実践した行く。 ②デイサービスとの連携を図り、逆デイサービスを再開する。 ③長期利用者に対しても、積極的に在宅に戻れないかを検討し、家族を含めカンファレンスを実施していく。 ④医療連携を図りながら、終末期の受入も実践していく。 ⑤退院後、自宅に戻るまでの機能回復と生活不安を取り除くために評価する利用を受け入れる。	新規	リーダー	主任

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
3	(3)	口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供。	①健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事) ②本人、家族が自宅で健康管理できる食事、栄養の支援を行う。	新規・継続	栄養士	主任
4	(3)	利用者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践。	①体重の増減を確認し、改善策を都度リーダーに提案・実施。 ②食事量、水分量、排泄状況のケアを毎週行い、食を通じたアプローチを提案・実施。 ③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。 ④食事量低下時における対応を柔軟に行い、食事量を戻す取り組みを行う	継続	栄養士	主任
5	(4)	安心して生活できる施設づくり。	①事故に対する危険予測の意識を高めるための研修会を開催するほか、ヒヤリハットと過去の事故事例をユニット会議内において継続的に周知し予防意識を啓発します。(目標:事故件数、前年度より、 10%減少 、骨折事故ゼロ、服薬に関する事故ゼロを目指す。) ②高齢者虐待や身体拘束予防の研修会の実施のほか、毎月のユニット会議において身体拘束(及び不適切なケア)を議題を委員会 ^① で検討し全職員で共有する。(目標:身体拘束と虐待及び不適切なケア 0件) ③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウイルス等を予防する。 (目標:集団感染を防ぐ) ④認知症への理解と周辺症状対応力を向上する(認知症実践者研修受講1名) ⑤初回利用時にアンケートを実施し、快適な利用ができるようサービスの向上を図る。	新規・継続	主任	各スタッフ
6	(5)	安心して生活できる施設づくり	①全職種、全職員を対象とした研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力の向上を図る。 ②学んだ知識を日常のケアで実践できる力を付ける。	継続	課長	主任
7	(4)	業務の効率化とマニュアルの整備。	①現在担当となっている業務をマニュアル化し整理する。 ②記録のIT化によって生じた時間を有効に活用していく。 ③物品の配置と個数を整理し、整理整頓され効率性のある環境をつくる。 ④ICT、介護ロボットを導入し、介護負担の軽減を更に図っていく。	継続	課長	主任
8	(4)	チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、 適切な人材の確保を目指す。	①有給休暇(10連休または2回に分けて)の計画的付与を継続。 ②各職員の役割を明確にし、自ら考え、責任を持って行動する。互いのことを思いやり協力する職員集団となる。 ③実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。実習指導者研修の受講(1名) ④外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する(法人企画B-proの参画2名)	継続	課長	主任
9	(5)	業務の効率化とマニュアルの整備。	①現在担当となっている業務をマニュアル化し整理する。 ②記録のIT化によって生じた時間を有効に活用していく。 ③物品の配置と個数を整理し、整理整頓され効率性のある環境をつくる。 ④ICT、介護ロボットを導入し、介護負担の軽減を更に図っていく。	継続	課長	主任
10	(6)	適正利益の確保と安定した運営。	①新規利用者、ショートステイ利用の満足度を向上させ稼働率を向上させます。また、安心してご利用いただくため、感染症予防対策を徹底します。(目標年間稼働率:90%) ②目標事業活動収入: 32, 310, 828円	継続	課長	主任

事業所名(部署)

鷹栖町デイサービスセンター はびねす

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) デイセンターが「こころとからだ元気になる場」を合い言葉に、利用者が選択できる多種多様なサービスを役割・立場を超えて提供する。
- (2) 介護予防から中重度者へ「良いケア」が提供できる様に、職員の情報共有の場を設け早期発見、早期対応に努める。
- (3) 「良いケアをするために、良い職場をつくる」を合い言葉に、チーム一丸となり働きやすく・やりがいのある職場環境をつくります。
- (4) 「良い経営」を合い言葉に、適正利益の確保と無駄を省くことに努めます。

3. 事業所(係)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	魅力あるデイサービス充実したアクティビティ	・常に事業所内が清潔感に包まれ、利用者にとって心地よい居場所と空間を整える。	継続	大矢	谷
			・デイ活動室(E型)の環境整備を行い、カフェルームの設置を行う。(令和7年度完成)	継続	谷	大矢/古田
			・裏庭での畑作業、ガーデン整備の実施。	継続	レタシヤ	谷/長谷川
			・魅力ある製作レクリエーション(ハンドメイド)、楽しめるレクリエーション、外出行事の実施。	継続	岩井	成田
			・馴染みの仲間とのおいしい食事の場を提供する。	継続	成田	藤川/新井

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
2	(1)	自立支援・リハビリプログラムの構築	<ul style="list-style-type: none"> マシントレーニングの記録、評価を行い適切な運動プログラムの提供。 心身機能の改善状況を可視化し、利用者へフィードバックを行うことで、運動への意欲向上を促す。 	継続	大矢	大河原
3	(1)	地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアとの連携を図り、アクティビティプログラムを充実させる。 	継続	谷	大河原
			<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動に積極的に利用者が関わる支援を行う。(老人会会合、子供体験教室、地域サロン活動への参加・訪問) 	継続	谷/古田	大河原
4	(2)	介護予防と重度化予防	<ul style="list-style-type: none"> 総合記録シートを活用しケアチェックを行い、入院リスクの軽減、重度化に対応する。 	継続	藤川	谷
			<ul style="list-style-type: none"> 欠席者の理由を職員全員で分析評価し、早急に対応する。 	継続	谷	藤川
			<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防のための学習療法のサービス提供の強化を図る。 職員が学習療法マスター資格を習得する。 	継続	古田	谷
			<ul style="list-style-type: none"> 利用者の口腔機能低下の早期発見、適切な管理指導を行い口腔機能の低下予防に取り組む。 	継続	藤川	近江
5	(2)	安心して利用できる デイサービスづくり	<ul style="list-style-type: none"> 事故・感染症の予防を行い、安心・安全なデイサービスをつくる。 	継続	藤川	近江
			<ul style="list-style-type: none"> 健康リスクの高い方のカンファレンスを行う。 利用者の健康状態の把握を行う。 毎日の終了後ミーティングにて迅速な情報交換と対応を行い、健康管理の対応をおこなう。 	継続	谷	藤川/大矢
			<ul style="list-style-type: none"> 利用者基本情報の定期更新を実施。緊急時の連絡先の更新を行う。 	継続	古田	谷
			<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防の研修を定期的で開催し、最新の感染予防・感染対応について学習する。 	継続	藤川	近江

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
6	(2)	ケアスキル 接遇マナー向上	・研修・勉強会・接遇マナーに参加し、ケアスキルの向上、接遇マナーを身につける。認知症介護の基本理念、知識、技術を習得する。	継続	谷	藤川
7	(3).(4)	職員の働きやすさ やりがいの向上と業務改善	・業務改善を定期的に行い、無理無駄むらをなくす。	継続	谷	藤川/大矢
			・介護課程を展開し、利用者の満足を職員のやりがいへとつなげる。	新規	谷	藤川
			・職員自身が生きいきと働けるよう、長期休暇(8連休 有給6休)を計画的に取得する。	継続	谷	藤川/大矢
8	(4)	適正収益の確保	・定期的に居宅・地域包括にデイ活動の周知宣伝を行い、稼働100%を維持する。 ・適切な利益の確保し、健全な経営ができる様にする。 令和7年度 実利用者数 124.0名/月 平均利用者数 30.0名 介護報酬 78,201,555円 (R7当初予算) 令和6年度 実利用者数 107.0名/月 平均利用者数 24.5名 介護報酬 64,888,693円 (R6当初予算)	継続	谷	-

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名: デイサービスはびねす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションした結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画	実施目標	取組み事項	取組み内容	実施担当者	中間評価												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容							
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
1	(1)	魅力あるデイサービス充実したアクティビティ	・常に事業所内が清潔感に包まれ、利用者にとって心地よい居場所と空間を整える。	大矢谷	計画		大掃除 (棚内の整理整頓)	レイアウト見直し (テーブル配置・植物の配置見直し)							大掃除 (棚内の整理整頓)						①清潔感とおしゃれさをテーマに緑あふれる空間を演出できる ②定期的にレイアウトを見直しマンネリ化を防ぐ ●利用者にとって居心地の良い空間の整備ができています					
			・デイ活動室(B型)の環境整備を行い、カフェルームの設置を行う。(令和7年度完成)	谷大矢古田	計画	カフェスペースレイアウト検討	カフェスペースレイアウト実施															①カフェスペースの整備 ・本棚 ・ボックス席パーテーション ・収納スペース ・壁紙の張替え ・間接照明の購入設置 ・植物の設置 ●つるつるのカフェスペースの整備				
			・裏庭での畑作業、ガーデン整備の実施。	レタシヤ長谷川谷	計画		畑プランター整備 谷/レタシヤ/長谷川	畑プランター整備 谷/レタシヤ/長谷川									収穫・丹付け レタシヤ/長谷川/谷					・利用者が裏庭での畑(プランター栽培)ができる ●利用者が畑仕事という役割を持ち、いきいきと活動できる				
			・魅力ある製作レクリエーション(ハンドメイド)、楽しめるレクリエーション、外出行事の実施。	岩井成田	計画	製作レク 岩井	花見 成田	販売用ハンドメイド作品製作 岩井 外出レク 成田 パークゴルフ場 設置(大矢)	外出レク 成田	外出レク 成田	外出レク 成田						製作レク 岩井	紅葉ツアー 成田	外出レク 成田	外出レク 成田	新年会 外出レク 成田	節分 岩井 外出レク 成田	外出レク 成田	①制作レクの月一回以上の実施 ②外出レクを毎月実施 ③季節行事の実施 ④制作レクを月間デイに出品する ⑤サンホールはびねす野菜販売所でのハンドメイド作品販売 ●利用者が喜べる楽しいレクリエーションを提供できる		
			・馴染みの仲間とのおいしい食事の場を提供する。	成田藤川	計画				ホタテ祭り 大矢	ホタテ祭り 大矢	ホタテ祭り 大矢													①楽しくおいしい食事を食べる ●楽しい食事交流が再開できる		
					実施																					
2	(1)	自立支援・リハビリプログラムの構築	・マシントレーニングの記録、評価を行い適切な運動プログラムの提供。 ・心身機能の改善状況を可視化し、利用者へフィードバックを行うことで、運動への意欲向上を促す。	大矢/大河原	計画				運動機能分析装置 ザラツ 大矢													①リハビリによる身体機能の変化をフィードバックし利用者のモチベーションアップを図る ●リハビリ意欲の向上				
			実施																							
3	(1)	地域資源の活用	・地域のボランティアとの連携を図り、アクティビティプログラムを充実させる。	谷/大河原	計画			体操ボランティア 大矢															①ボランティア受け入れを行う ●定期的に地域のボランティアによるプログラムを開催できる			
			・地域の活動に積極的に利用者が関わる支援を行う。(老人会、子供体験教室、地域サロン活動への参加・訪問)	谷/大河原	計画	老人会 内覧会 谷 つながり商店			夏休み寺子屋 (学習療法社協コラボ)	買い物ツアー (買い物支援事業社協コラボ)														①地域の活動への参加を行う ②社協への地域イベントへの参加協力要請をおこなう ③社協野菜販売(サンホールはびねす)への利用者店番協力 ●利用者、職員ともに地域への活動に参加する		
			実施																							
4	(2)	介護予防と重度化予防	・総合記録シートを活用しケアチェックを行い、入院リスクの軽減、重度化に対応する。	藤川/谷	計画	ケアチェック																①健康チェックを行い入院者の軽減を図る R6入院27件予測→25件(前年比-8%) ●入院者の減少				
			実施																							

事業所名(部署)

介護センターさつき苑

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) ケアマネジメントの質の向上
- (2) 自身の課題の把握と課題に対応した研修の受講により実践力の向上
- (3) 地域への貢献を通して顔の見える関係づくりと多職種連携やチーム力の底上げ
- (4) 業務効率化とリフレッシュ休暇の取得
- (5) 適正利益の確保及び鷹栖町の社会資源全体の状況の把握を強化と地域への発信

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	利用者の課題に対し具体的なケアの方針が立てられるように、在宅版トータルケアシートのシステム活用と多職種連携を強化	①在宅版トータルケアシート導入とケアチェック強化(ケアマネ1人4ケースを目標)ICTバイタルリンクの活用による情報連携	継続	河田	林崎
	(1)	「生き活きはびねすプラン」の策定とケアの提供	①利用者の笑顔や喜びを導き出すため、「生き活きはびねすプラン」を策定し、ケアマネジャー自身が外出支援を実施(1ケース以上)とブログアップ、より良いケアプランを実施するためカスタマイズを検証	継続		
	(1)	多職種連携による効果的なカンファレンスを確実に実施	①地域包括ケア推進チーム会議にケース事例提供を行いマネジメントの質の向上を図る(2~3ケース) ②地域ケア会議への困難事例の事例検討(1ケース)	新規		

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
2	(2)	専門的知識と技術の向上	①法人内研修(基礎介護力向上等)に参加して知識・技術を習得 ②ケアマネ会議(ケアプラン作成、アセスメント、スーパービジョン、認知症、災害対策、身体拘束・虐待予防、介護保険法、個人情報保護、成年後見制度、感染対策、PPE2回) ③外部研修(医療連携、多職種連携、アセスメント、ケアマネジメント、スーパービジョン)を1回/月受講し最新の知識・技術を習得 ④介護支援専門員法令研修の受講と年2回自己点検用紙にて自主点検、個人目標設定及び評価を実施 ⑤ケアマネジャーの接遇及びケアマネジメントの満足度を把握するため、満足度調査を実施 ⑥地域共生型研修(年4回)、居宅合同研修(年1回)、在宅医療連携研修会(年1回) ⑦ 困難事例管理者によるスーパーバイズを実践	継続 変更	佐藤	山本裕子
3	(3)	地域への貢献	①地域住民に対する講話などにより貢献活動を実施(介護の入門的研修・認知症サポーターキャラバンメイト・ヘルスリテラシー) ②認知症サポーターキャラバンメイトの取得(2名) ③ケアマネカフェの実施(1回/年) ④社会福祉士実習生の受け入れ(2月、8月)	継続 変更	山本正広	林崎
4	(4)	業務効率化を図りリフレッシュ休暇を取得できる体制構築	①ノートパソコンによるシステム活用(1名) ②ほのぼの書式評価・効率化を図る ③システムの改善案の検証 DWの活用による紙媒体の削減 ④ケアプランデータ連携システムの導入検討・試用及び使用前後の効果検証 ⑤ChatGPT、AIケアマネジメント等を活用したケアプラン、支援経過記録、会議録、理由書の作成 ⑥全職員が5連休を取得	継続	山本裕子	林崎
5	(5)	事業所の運営管理及び近郊地域、医療連携室、各部門との連携を強化	①目標利用者人数(期初215名→期中222名→期末223名:年間平均利用者数220名) 目標新規利用者数84名、目標停止者数48名 ②目標収益:33,220千円(前年度当初予算32,860千円) ③旭川地域包括センター、医療連携室へ情報提供を実施 ④集中減算資料を年2回(3月～8月・9月～2月)作成 ⑤BCP更新 ⑥緊急時・徘徊者リスト作成・管理	継続	佐々木	

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名			〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。													最終評価	評価内容				
事業計画 No.	重点目標との連動	取り組み事項	取り組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月			2月	3月	ゴール(達成目標)	
4	(4)	業務効率化を図りフレックスタイム休暇を取得できる体制構築	①ノートパソコンによるシステム活用(1名)	山本(裕)林崎	実施														・新たに実習指導者1名資格取得する		
			計画		設定・運用(佐々木)	運用	運用	評価	運用	運用		運用	評価	運用	運用	運用	評価	・業務効率化を図ることができる。			
			実施																		
			計画			書式評価(山本裕)	書式評価	書式検討	書式検討	書式統一化		書式統一化	運用	運用	運用	運用	運用	運用	・効率良く統一した方法でシステム入力できる		
			実施																		
			計画		デジタル化検証								運用	評価	運用	運用	運用	運用	評価	・業務時間を比較しながら業務効率化を図ることができる。	
5	(5)	事業所の運営管理及び近郊地域、医療連携室、各部門との連携を強化	④ケアプランデータ連携システム試用及び仕様前後の効果検証	山本(裕)林崎	計画	研修参加及び検証	申請の検討												・使用しながら効果を検証できる		
			実施																		
			計画		研修参加及び検証															・DXを活用しながら業務時間を比較し効率化を図れる	
			実施																		
			計画																	・全員リフレッシュ休暇を取得	
			実施																		
5	(5)	事業所の運営管理及び近郊地域、医療連携室、各部門との連携を強化	①目標利用者人数(初期215名→期中222名→期末223名;年間平均利用者数220名)	佐々木	計画	210	215	220	222	222	222		222	222	222	222	222	223	・目標人数を達成		
			実施																		
			計画		達成・未達対策案	・目標収益を達成															
			実施																		
			計画		ブログアップ	連携室訪問 ブログアップ	ブログアップ	・事業所の広報活動ができる													
			実施																		
			計画		-	-	-	-	-	集中減算作成		-	-	-	-	-	-	-	集中減算作成	・資料作成実施	
			実施																		
			計画		書式更新 シミュレーション	・BCP対策としてシミュレーションを行う															
			実施																		
			計画		随時実施															・緊急時迅速に対応・管理できるよう準備	
			実施																		

事業所名(部署)

多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 専門的な知識・技術を活かし安全で根拠に基づく介護サービスを提供する
- (2) 自主性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める
- (3) 職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる
- (4) 業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	ケアの質の向上と安全で根拠に基づくサービスの提供	①ケアチェック、根拠に基づきカンファレンスを実施し、中重度化に対応したケアの提供。 ②アセスメントシートを100%ほのぼのシステムに移行し、定期更新(ケアプラン更新時)する。 ③安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ。 ④身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(委員会の開催、年2回研修実施)。	新規・継続	①各スタッフ ②各スタッフ ③各スタッフ ④森	角谷 大倉
2	(1)	安全で美味しい食事の提供	①個別に合わせた適切な食事形態の提供。 ②食事量の低下者に対して速やかな栄養改善を図る。	継続・新規	角谷 大倉	栄養士
3	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①ケアチェックを強化し、病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ(目標総延べ入院日数30日)。 ②誤嚥性肺炎による入院者0名。	継続	角谷 大倉	森
4	(1)	食中毒・感染症の予防と非常災害時の対応	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める(集団感染0件)。 ②非常災害訓練を年2回以上実施。	継続・新規	①各スタッフ ②秋保	①角谷/大倉 ②森
5	(1)	基礎介護力の向上	①基礎介護力向上研修を実施し、身につけた知識、技術を日常のケアで実践できる力をつける。 ②外部研修の計画・実施。	新規・継続	①谷口/津野 壺山/田中 ②秋保	森

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
6	(2)	心身機能の維持向上を図る暮らしの充実	①利用者の課題を分析し、計画の立案、目標に向けたケアを展開しADL(QOL)の維持、向上を図る。 ②楽しみや喜びのあるアクティビティーの計画・実施。	継続	①各スタッフ ②大懸/四ツ家	①角谷/大倉 ②ワフユ/水澤
7	(3)	働きやすい職場づくり	①不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する。 ②リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化。 ③退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)。 ④ 超過勤務を削減するために、ICT、IOTを活用し改善を図る。(時間外手当の10%削減)	継続	①角谷/大倉 ②秋保/森 ③秋保/森 ④大倉/小笠原	森 秋保
8	(3)	チームワークの向上	① 社訓(行動指針)を意識し月の目標を立て、各会議で評価する。 ②職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)。	新規・継続	①各スタッフ ②角谷/大倉	森
9	(4)	業務の効率化	①業務の見直しを行い業務分担を明確にし見える化する。 ②従来のマニュアルの見直しと整理。	継続	角谷 大倉	森 秋保
10	(4)	適正利益の確保	①ケアの質向上により入院者数を減少させ、目標稼働率98%を達成する(目標介護保険事業収入: 89,455,247円)。 ②光熱水費に対してのコスト意識を高め、節約に努める(前年度より 使用量-3%)。	継続	角谷 大倉	森 秋保

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待通りの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容			
1	(1)	ケアの質の向上と安全で根拠に基づくサービスの提供	ケアチェック、根拠に基づきカンファレンスを実施し、中重度化に対応したケアを提供する	各スタッフリーダー	計画	Wチェック モニタリング カンファレンス							Wチェック モニタリング カンファレンス						ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持する。				
			アセスメントシートを100%ほのほのシステムに移行し定期更新する(ケアプラン更新時)	各スタッフリーダー	計画	ほのほのシステムへの移行説明	ケアプラン更新時アセスメントシート更新							ケアプラン更新時アセスメントシート更新						アセスメントシートを100%ほのほのシステムに移行する。			
			安全で予防的なケアに努め、事故及び事故の再発を防ぐ	各スタッフリーダー	計画	毎月の会議での事故報告・分析	救命救急研修								毎月の会議での事故報告・分析						転倒、転落事故14件→6件 業に関する事故 2件→0件 (事故件数R6年19件→R7年15件)		
			身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回研修実施)	各スタッフリーダー主任	計画			虐待予防研修								虐待予防研修					年2回研修を実施する。 身体拘束・虐待0件。		
2	(1)	安全で美味しい食事の提供	個別に合わせた適切な食事形態の提供	各スタッフ栄養士	計画	食事ケアチェック							食事ケアチェック						経口摂取を維持する。				
			食事量の低下者に対して速やかな栄養改善を図る	リーダー栄養士	計画	食事ケアのWチェック								食事ケアのWチェック						低栄養状態を回避し食事量の安定を図る。			
3	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	ケアチェックを強化し病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ	リーダー主任	計画	体調不良者・入院者の分析			健康診断	診断結果の分析(昨年との比較)			体調不良者・入院者の分析						病気の発症を防ぎ重症化や再発をさせない。 (入院延べ日数R6年106日→R7年30日)				
			誤嚥性肺炎による入院者0名	リーダー主任	計画	口腔ケアの徹底								口腔ケアの徹底						誤嚥性肺炎による入院者0名 (R6年3名→R7年0名)			
4	(1)	食中毒・感染症の予防と非常災害時の対応	感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める	各スタッフリーダー	計画	防護服脱着訓練		食中毒研修					防護服脱着訓練 感染症予防研修会						全職員が感染症対策対応ができ、食中毒、感染症の集団感染0件				
			非常災害訓練を年2回以上実施実施	課長主任	計画		非常災害訓練							非常災害訓練						ケア場面(入浴介助中、排泄介助中)を想定した非常災害訓練を実施する。			
5	(1)	基礎介護力の向上	基礎介護力向上研修を実施し、身につけた知識、技術を日常のケアで実践できる力をつける	谷口津野 櫻山 田中	計画				基礎介護研修				基礎介護研修	基礎介護研修	基礎介護研修	基礎介護研修	基礎介護研修		身につけた知識、技術を日常のケアで実践できる。				
			外部研修の計画・実施	主任 課長	計画	先端ケア研究会	先端ケア研究会 リーダー研修会	新任介護職員研修	・認知症介護実践リーダー研修 ・認知症介護実践者研修							高齢者ケア研究会参加				外部研修に参加し、ケアの向上を図る。(職場に1つ以上還元する)			

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容				
6	(2)	心身機能の維持向上を図る暮らしの充実	利用者の課題を分析し、計画の立案、目標に向けたケアの展開しADL(QOL)の維持、向上を図る	各スタッフ	計画	アセスメント計画→実施→評価												アセスメント計画→実施→評価	総括(成果の確認)	全常勤職員が、担当利用者のADL(QOL)の維持、向上を目指し介護過程の展開ができる。				
			楽しみや喜びのあるアクティビティーを計画・実施	大懸四ツ家ワフユ水澤	計画	年間計画作成																計画どおり実施することで利用者のQOLの向上を目指す。		
7	(3)	働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を実施する	主任リーダー	計画			面談の実施											面談の実施		面談を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。			
			リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化	主任課長	計画	連続休暇調整														連続有給休暇取得		1人8日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を4日つける)有給休暇は、年間5日以上とする。		
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	主任課長	計画	退職者0															退職者0		結婚・出産以外での退職者をださない。	
			超過勤務を削減するために、ICT、IOTを活用し改善をはかる	大倉小笠原	計画	ICT-IOT活用																		時間外手当を10%削減する。
8	(3)	チームワークの向上	互いのユニットを常に補うことができるよう、ユニット固定の勤務を解消する(常勤のみ)	各スタッフ	計画	早～お													早～夜		互いのユニットを常に補うことで、チームワークの強化を図る。			
			社訓(行動指針)を意識し月の目標を立て、各会議で評価する	各スタッフ	計画	月目標設定評価														月目標設定評価		思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。		
			職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)	各スタッフ	計画	取組み内容決定	取組み														取組み	取組みのまとめ	一つのテーマにチームで取組み成果を出す。	
9	(4)	業務の効率化	業務の見直しを行い業務分担を明確にする	リーダー	計画	業務整理	業務見直し												業務整理	業務見直し	業務を見直し、業務分担を明確にすることにより、業務の効率を図る。			
			従来のマニュアルの見直しと整理	リーダー	計画																	従来のマニュアルの見直しと整理		
10	(4)	適正利益の確保	ケアの質向上により入院者数を減少させ、目標稼働率98%を達成する(目標介護保険事業収入89,455,247円)	課長主任	計画	稼働率98%													稼働率98%		長期入院者を出さない。(入院延べ日数30日)目標介護保険事業収入達成			
			光熱水費に対するコスト意識を高め、節約に努める	リーダー	計画		節約運動強化月間	節約運動強化月間	節約運動強化月間											節約運動強化月間	節約運動強化月間	光熱水費の使用量を前年度より3%削減する。		

事業所名(部署)

小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 知識・技術の専門性の向上を図り 安全で根拠に基づく介護サービスを提供する
- (2) 主体性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める
- (3) 職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる
- (4) 業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	ケアの質の向上と安全で根拠に基づくサービスの提供	①アセスメントシートを100%ほのぼのシステムに移行し、定期的な情報更新を行う ②ダブルチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する ③安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ ④身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回研修実施) ⑤入院時の退院目標を病院・ご家族・職員で共有し実施する ⑥在宅復帰に向けた実行計画(ケアプラン)を作成し、ご家族・職員で共有し実施する	継続	松嶋	設楽
2	(1)	安全で美味しい楽しみのある食事の提供	①個別に合わせた適切な食事形態を提供する ②利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事・行事食を計画し実施する	継続	已上栄養士	
3	(1)	食中毒・感染症の予防	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス、ノロウィルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める。(集団感染0件) ②非常災害時における訓練の年2回の実施と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。	継続	① 石川 ② 設楽	秋保
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①ケアチェックを強化し、病気の発症及び重症化を防ぐ。早めの受診、医療と介護連携により、入院での利用休止を増やさない。受診対応のできない家族への支援強化。 ②在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの強化(訪問サービスの提供で在宅での健康管理を強化し、介護者の介護力を見極め必要な支援・援助を行う) ③主治医・かかりつけ医との医療連携の強化を図る ④入院後は2週間ごとの状況確認(MSW・ご家族)を実施し、入院期間の短縮を図る	継続	① 石川 ② 松嶋 ③ 松嶋 ④ 松嶋	設楽

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
5	(1)	基礎介護力の向上	①法人全体で基礎介護力向上研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る ②外部研修の計画・実施 ③利用者の課題を分析し、目標に向けたケアを展開し、ADLの維持・向上を図る。(介護過程の展開)	継続	設楽	松嶋
6	(2)	アクティビティの充実	①楽しみ・喜び・やりがいのある、そして年齢層に合わせたアクティビティを計画・実施する(団塊の世代のニーズに応えられるようタブレット、ゲーム等の準備) ②アクティビティの取り組み強化のため、先進施設や事業所への訪問、見学を計画・実施 ③学習療法をより多くの方に参加していただくために、定期的に利用者・ご家族へPRをおこなう。定期的に学習診断を行い評価を行う。 ④地域住民との交流、外出行事の拡大(毎月1回実施) ⑤質の良い物づくりレクリエーションを毎月行う(デイサービスからレクチャーを受け実施)	継続	①門眞 ②門眞 ③大坪 ④富山 ⑤門眞	設楽
7	(2)	環境を改善し過ごしやすい生活環境を作る	①施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る	継続	小林	富山
8	(3)	働きやすい職場づくりチームワークの向上	①不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期に職員面談を実施する ②リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化 ③退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す) ④「アクティビティの満足度評価を20%増加」するため、「主任・リーダーの残業時間を30%削減」するためICT、IOTの活用を通じてケアの質向上及び職場環境の改善(介護負担軽減、業務効率化)を図る ⑤社訓(行動指針)を意識し月の目標を立て、各会議で評価する。	継続	松嶋	設楽
11	(4)	適正利益の確保	①登録人数の維持(24名)、目標新規利用者10名確保のため、毎月1回医療機関へのPR・待機者の確認の実施(目標停止者5名) 訪問医療機関(日赤病院・圭泉会病院・森山メモリアル病院・大雪病院・リハビリテーション病院・旭川脳神経外科循環器内科病院・厚生病院・医療センターなど) ②目標介護保険事業収入66,652,283円(前期:69,254,894円) ③ダブルチェックの徹底と予防的なケアに努め、長期入院、施設入居を増やさない ④光熱費に対するコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)	継続	設楽	松嶋

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

【注】S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	月												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月				3月				
1	(1)	ケアの質の向上と安全で根拠に基づくサービスの提供	アセスメントシートの整理と定期的なデータ更新	松嶋 設案	計画	データ更新開始													アセスメントシートの整理と定期的なデータ更新					
			ダブルチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する	松嶋 設案	計画	Wチェックによるカンファレンス														ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持				
			安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ	松嶋 設案	計画	毎月の会議での事故報告・分析															事故件数前年度比-1件(R6年度3件→R7年度2件)			
			身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回研修実施)	松嶋 設案	計画																年2回研修を実施する。			
			入院時の退院目標を病院・ご家族・職員で共有し実施する。	松嶋 設案	計画																入院延べ日数30日にとどめる			
			在宅復帰に向けた実行計画(ケアプラン)を作成し、ご家族・職員で共有し実施する。	松嶋 設案	計画																ケアプランに沿ったケアを実施し在宅復帰ができる。			
			身体拘束・虐待0件	松嶋 設案	計画																身体拘束・虐待0件			
2	(1)	安全で美味しく楽しみのある食事の提供	個別に合わせた適切な食事形態を提供する	已上栄養士	計画	食事ケアチェック													食事量の安定と誤嚥性肺炎0件					
			利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画し実施する	已上栄養士	計画	出前お茶会 祝日行事食	祝日行事食お茶会	外食ツアールお茶会	流し暮りお茶会	お茶会	祝日行事食外食ツアールお茶会	祝日行事食お茶会	出前祝日行事食お茶会	クリスマスお茶会	おせち料理祝日行事食お茶会	祝日行事食宿内メニューお茶会	祝日行事食お茶会			満足度調査を実施し、食事に関して90%が良いの評価。				
3	(1)	食中毒・感染症の予防	感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒の感染予防に努める(集団感染0件)	石川主任課長	計画			食中毒研修											食中毒、感染症の集団感染0件					
			非常災害時における訓練の年2回の実施と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。	松嶋 設案 秋保	計画	防護服脱着訓練															年2回の非常災害時訓練と感染症対策訓練の実施。全職員が感染症対策対応ができる。			
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	ケアチェックを強化し、病気の発症及び重症化を防ぐ。早めの受診、医療と介護連携により入院での利用休止を減らす。受診対応のできない家族への支援強化	石川 設案	計画	的確なケアプラン、受診時の同行支援 必要者随時同行														健康管理・病状の把握(利用者全員、血液検査データを提出してもらう)				
			在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの強化(訪問サービスの提供で在宅での健康管理を強化し、介護者の介護力を見極め必要な支援・援助を行う)	石川 設案	計画	再アセスメント 健康ノート使用者増	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	ケアカンファレンス サービス提供の見直し	再アセスメント	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	詳細カンファレンス サービス提供の見直し			あつたかす健康ノート(簡易版含む)使用者を増やし在宅中の状況把握ができる			
			主治医・かかりつけ医との医療連携の強化を図る。	石川 設案	計画	受診時同行・連携シート持参															受診時の同行、もしくは連携シートの持参で医療連携を図る			
			入院後は2週間ごとの状況確認(MSW・ご家族)を実施し、入院期間の短縮を図る。	松嶋 設案	計画	状況確認																入院延べ日数30日にとどめる		
			法人全体で段階別基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る	松嶋 設案	計画																	経験・スキルに合わせた研修の実施により職員のケアのレベルアップができる。		
5	(1)	基礎介護力の向上	外部研修の計画・実施	松嶋 設案	計画	高齢者ケア研究会参加														外部研修に参加し、ケアの向上を図る。(職場に1つ以上還元する)				
			利用者の課題を分析し、目標に向けたケアを展開し、ADLの維持・向上を図る。(介護過程の展開)	松嶋 設案	計画	アセスメント、計画、実施、評価															全職員が、担当利用者のADLの維持、向上を目指したプランを立て、取り組み、成果をふりかえる。			
				松嶋 設案	実施																			

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容				
					計画	実施	計画	実施	計画	実施		計画	実施	計画	実施	計画	実施				計画	実施		
6	(2)	アクティビティの充実	楽しみ・喜び・やりがいのある、そして年齢層に合わせたアクティビティを計画・実施する(団塊の世代のニーズに応えられるよう多種多彩なレクを準備。タブレット、ゲーム等の準備)	門真月担当	計画	月のレク定みの通	季節通	変わり通	変わり通	季節通	変わり通		変わり通	山前変わり通	忘年会の準備変わり通	変わり通	新年会変わり通	後の前向き変わり通	計画どおり実施でき、利用者の満足度3以上					
			アクティビティの取り組み強化のため、先進施設や事業所への訪問、見学を計画・実施	門真月担当	計画	企画	デイ見学			企画	実施		企画	実施			企画	実施	計画通り実施でき、アクティビティの月間アクティビティカレンダーの作成・運営ができる。					
			学習療法をより多くの方に参加していただくために、定期的に利用者・ご家族へPRを行う。定期的に学習診断を行い、評価を行う。	大坪	計画	学習療法案内配布・ポスター一枚掲げ回収条件		家庭対象見学会計画				学習療法見学会開催								学習療法参加人数の確保(R6年度5名→R7年度7名)				
			地域住民との交流、外出行事の拡大(毎月1回実施)	富山	計画	買い物ツアー	買い物ツアー	運動会見学買い物ツアー	さつき祭トワイライト買い物ツアー	紅葉祭町長祭りの訪問	トワイライト外出買い物ツアー				花魁トワイライト外出	買い物ツアー	買い物ツアー	買い物ツアー	買い物ツアー	買い物ツアー	計画通り実施でき、地域住民との交流ができる			
			質の良い物づくりレクリエーションを毎月行う(デイサービスからレクチャーを受ける)	門真	計画	デイサービス訪問	実施	デイサービス訪問	実施	デイサービス訪問	実施	デイサービス訪問	実施		実施	実施	実施	実施	実施	計画通り実施でき、アクティビティの質の向上を図る。				
7	(2)	環境を改善し過ごしやすい生活環境を作る	施設内の装飾品や植物を適切に管理し美しい生活空間を作る	小林富山	計画	月担当しつらえ(植物管理含む)																		
			実施																					
8	(3)	働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する	松嶋 設案 秋保	計画																			
			実施																					
			リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化	松嶋 設案 秋保	計画	連続有給休暇取得																		
			実施																					
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	松嶋 設案 秋保	計画	退職者0		面談																
11	(4)	適正利益の確保	「アクティビティの満足度評価20%増加」するため、「主任・リーダーの残業時間を30%削減」するためICT、IoTの活用を通じてケアの質向上及び職場環境の改善(介護負担軽減、業務効率化)を図る	松嶋 設案	計画	ICT・IoT活用																		
			実施																					
			社訓(行動指針)を意識し月の目標を立て、各会議で評価する。	松嶋 設案	計画	月目標設定評価																		
			実施																					
			登録人数の維持(目標登録人数24名)のため、目標新規利用者10名確保のため、毎月1回医療機関へIR・待機者の確認の実施(目標停止者5名) 訪問医療機関(日赤病院・主泉会病院・森山メモリアル病院・大宮病院・など) 目標介護保険事業収入66,652,283円	松嶋 設案	計画	医療機関等IRパンフレット確認・補充 待機者状況確認																		
実施																								
登録終了者の確認待機者の状況確認	松嶋 設案	計画	登録終了者の確認待機者の状況確認																					
実施																								
ダブルチェックの徹底と予防的なケアに努め、長期入院、施設入居を増やさない	松嶋 設案	計画	件数不良者・入院者の分析																					
実施																								
光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)	松嶋 設案	計画	節約運動強化月間																					
実施																								

事業所名(部署)

地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 多職種共同でケアを提供し、健康で豊かな暮らしをつくる。
- (2) 感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める。
- (3) 自主性・主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める。
- (4) チームワークの向上とICTの活用を通じて職場環境の改善を図る。
- (5) 適正利益の確保。

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	多職種が協同し、根拠に基づいたケアを提供する。	<ol style="list-style-type: none"> ①病気の悪化を防ぎ、予防的なケアを実践する。また日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防。 ②事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止。 ③褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践。 ④褥瘡のアセスメント、モニタリングをケアプランと連動させて標準化する。 ⑤口腔の健康の保持を図るため、口腔衛生の管理を多職種協同で実践する。 ⑥便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画・実践し排泄ケアマネジメントを標準化する。 	継続	松原主任	谷水看護師 己上栄養士
2	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供。	<ol style="list-style-type: none"> ①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供。 ②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践 ③治療食の提供に幅を設け、病気があっても楽しみのある食事を提供。 ④栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種協同で実施する。 ⑤低栄養状態のリスクが高い入所者に対し、多職種でミールラウンドを週3日以上実施し、栄養の改善に努める。 	継続	己上栄養士	谷水看護師
			<ol style="list-style-type: none"> ⑥入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。 ⑦栄養士による季節感のある手作りおやつ提供(年2回実施) ⑧年1回嗜好調査を実施する。 	継続	己上栄養士	

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
3	(1)	楽しみや喜びのある暮らしづくり。	①日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ年間レク計画をたて計画的に実施。 ②地域の方々やご家族と共に楽しむことのできる行事を実施。 ③外出行事を実施し外出の機会を増やす。	新規 継続	アクティビティ 向上委員長	アクティビティ 向上委員
			④共有スペースの整理整頓と潤いのある生活環境づくり。 ⑤環境委員会による定期的な環境チェックを実施し心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持する。	継続	環境改善委 員長	環境改善委 員
4	(2)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり。	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める。	継続	谷水看護師	已上栄養士
			②非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。	継続	相談員	志知課長
5	(3)	知識・技術の専門性を持ち、働きがいのある職場づくり。	①現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感を持てるよう育成する。 ②介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしをつくる。 ③すべての職員が気持ち良い接遇を実践する。	継続	松原主任	志知課長
6	(4)	業務の効率化と働きやすい職場環境づくり。	①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差がないように統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成する。 ②業務改善(ファイリング、仕事の見える化、オペレーションの随時見直し等)により安心して働ける職場環境をつくる。 ③外国人スタッフの受入・サポート体制の評価と安心して働ける環境づくりの推進。 ④介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT・IOT化の推進。 ⑤有給休暇とリフレッシュ休暇(8連休)のほか、3連休の取得を推進。	継続	志知課長	松原主任
7	(5)	適正利益の確保。	①ケアの質向上により入院者を減少させ、目標稼働率(98%)を達成する。(目標介護保険事業収入:108,119,679円) ②全職員がコスト意識を持ち、消耗品、光熱水費の節約に努める。特におむつに関しては実態を把握し、使用のルール徹底を図りコスト削減につなげる。(前年比使用量-3%)	継続	志知課長	松原主任
			③市内病院の相談室・老人保健施設と定期的な連絡をとり、待機者の獲得と円滑な新規入居につなげる ④給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施。完調品の使用による調理業務の見直し。	継続	相談員 已上栄養士	志知課長

事業所名(部署)

小規模多機能ホーム めくもりの家えん

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 健康で豊かな生活を支えられるよう、多職種協働でケアを提供する。
- (2) 感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める。
- (3) 利用者の地域での暮らしを支えるために、家族・地域住民とのつながりを強め、活かす。
- (4) 知識・技術の専門性を持ち、自主性・主体性を持って介護課程を展開し、利用者の満足度を高め、自ら働きがいのある職場をつくる。
- (5) チームワークの向上とICT活用を通じて、ケアの質の向上と職場環境の改善を目指す。
- (6) 適正利益の確保。

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1) (2) (4)	多職種協働を強化し、根拠に基づいたケアの提供につなげる。	①看護職員・介護職員・栄養士と協同を図り、日々の健康管理を適切に行う(水分・必要栄養量の確認と把握、体重の増減確認)。医療と介護の連携により、入院による停止者ゼロを目指す(R6 4件→ 2件)。 ②利用者の口腔機能低下を早期に確認し、適切な管理等を行うことで重度化予防につなげる(口腔栄養スクリーニング加算Ⅰ)。	継続	林リーダー 小野看護師 己上栄養士	佐藤主任
			③事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止する(R6 17件(予測)→ 10件)。 特に薬に関する事故を前年度件数より -30%(R6 6件(予測) → 4件)。	継続	澤田	リスクマネジメント委員会
			④身体拘束および高齢者虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回の研修を実施)。	継続	佐藤主任	志知課長
			⑤入院時の状況把握を迅速に行い、担当医師や相談室との連携を密にとることで入院の長期化を防ぎ、必要最低限の期間での在宅復帰につなげる。	継続	佐藤主任	小野看護師

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
2	(2)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり。	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス・ノロウィルス・インフルエンザ・食中毒等の感染予防に努める(集団感染 0件)。 ②感染症発生時の対応策の明確化と、職員への定期的な研修の実施。 ③避難訓練(日中・夜間想定)、非常災害想定訓練の実施(年2回)。	継続	佐藤主任	己上栄養士 小野看護師 志知課長
3	(1) (4)	安全で美味しく楽しい食事の提供。	①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する。 ②栄養スクリーニングを行い、年齢・病状・家庭の状況を見て、摂食状況・活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。 ③利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事や、行事食を計画・実施する。満足度調査による評価の実施(年1回)。	継続	己上栄養士	佐藤主任 林リーダー 小野看護師
4	(1) (4)	楽しみや喜びのある暮らしづくり。	①日々の生活の中に、ご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ、思い出をつくる。 ②ご利用者・ご家族に成果の見えるアクティビティの実施。	継続	高田	アクティビティ委員会
			③心身機能の向上にテーマを絞った介護過程の展開を担当者が計画的に行い、ADL・IADL向上に取り組み、実践で活かす。利用者個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくりをすすめる。 ④利用者全員のアセスメントを計画的に見直し、利用者個々の望む暮らしに結び付けたケアを提供する。	継続	林リーダー	佐藤主任
			⑤新規利用時を含め、定期的にご利用者・ご家族へ学習療法の効果などをPRし、学習療法利用者を増やす。すべての職員が学習療法実践士の資格を取得する。	継続	寒河江	佐藤主任
			⑥植物を適切に管理し、潤いのある生活環境をつくる。 ⑦密を避けた心地よい空間作りと、清潔・整理整頓の維持。	継続	出倉	環境委員会
5	(3)	家族・地域住民との連携・協働の推進	①地域住民の学習療法サポーターを再開し、役割と生きがいをつくる。また、サポーター間の意見交換や実施報告等の機会を設ける。	継続	寒河江	佐藤主任
			②2ヶ月に1回の運営推進会議開催と、家族会・ぬくもり友の会・行政機関等の第三者からの意見や要望を取り入れた、健全で地域に根づいた事業所運営を行う。	継続	佐藤主任	志知課長
			③地域との連携による緊急時(火災)の体制を整備し、災害時の対応について協力を得る。	継続	佐藤主任	志知課長

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
6	(4) (5)	新任・現任職員の育成と、働きやすくチームワークの高い職場の風土づくり。 ICT活用の推進。	①基礎介護知識・技術研修を段階別に行い、重度化対応や根拠に基づくケアを実践する。	継続	林リーダー	佐藤主任
			②すべての職員が気持ち良い接遇ができる。 ③現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるよう育成する。 ④業務改善(仕事の見える化、ファイリング、オペレーションの見直し等)により、安心して働ける職場環境をつくる。 ⑤有給休暇とリフレッシュ休暇(8連休)のほか、3連休の取得の推進。	継続	佐藤主任	林リーダー
			⑥ICT活用により、ケアの質の向上および職場環境の改善を図る。	継続	林リーダー	佐藤主任
			⑦計画的な外部研修への参加。	継続	佐藤主任	林リーダー
7	(6)	適正利益の確保。	①利用者目標人数23.0名(R6 23.0名)。 (目標介護保険事業収入 66,493,725円) ・ <u>目標新規利用者 10名、目標停止利用者 7名</u> ②地域包括ケア病棟・老人保健施設の相談室を訪問し、待機者の獲得及び新規利用につなげる。 待機者リストを作成し、登録に空きが出た際は速やかに利用に結びつける体制を整える。 ③ <u>毎月の地域ケア会議へ出席し、役場・地域包括支援センター・法人居宅事業所に対し、空き状況や待機状況の情報共有を行う。</u> ④ <u>運営改善会議を月1回開催(リーダー会議前)し、利用低迷の改善策を検討・実行する。</u>	新規/継続	佐藤主任	志知課長 林リーダー
			⑤全職員がコスト意識を持ち、消耗品費・光熱水費の節約に努める。	継続	出倉	佐藤主任

事業所名(部署)

サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかほ

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リニューアルを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 自分の持てる力を活用して、安心して自分らしい生活を継続できるよう支援する
- (2) 社会参加・社会交流の機会を通して、地域で暮らす楽しみとつながりを感じることができるよう支援する
- (3) 住み慣れた地域での生活が継続できるよう、住民と共に支えるネットワークをつくり、地域貢献する
- (4) 適正利益の確保

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	生活支援ならびに状況把握サービスの提供	①入居者一人ひとりに必要なサービス(介護保険サービス・有料サービス・地域資源など)を見極め、入居者・家族への提案や相談、関係各所との連携を速やかに行う ②入居者・家族同士と職員が相互に意見を交換できる機会を設ける(年1回 家族懇談会の計画・開催)	継続	能登	
2	(1)	入居者の健康管理	①アセスメントを徹底し、既往歴や現病歴から起こりうるリスクを念頭に置いて日々の体調確認を行う ②受診・入院へと繋がりがゆる体調不良に対して早期に対処できるよう、水分摂取量の把握と摂取機会をつくる。 ③受診や服薬状況などを把握し、必要に応じて主治医や訪問看護との連携を図る	継続	能登	藤原
3	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供	①食中毒予防対策を厳守し、安全な食事を提供する ②入居者の摂食状況を確認し、変化に迅速に対応する ③入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。満足度調査による評価の実施 ④栄養士による季節感のある手作りおやつ提供(年2回)	継続	栄養士	能登
4	(1)	心身機能の維持向上と日常生活の活性化	①併設のフィットネス倶楽部の利用啓発 ②昼食前に嚥下体操や転倒予防体操を行うことで機能維持を図る	継続	能登	藤原

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
5	(1)	安全で過ごしやすい環境づくり	<u>①居室内の環境を専門職(PT・Ns.・ケアマネジャー等関連事業者)で評価し、安全な環境整備を図る</u>	新規	能登	
6	(1)	専門的知識の向上	①夜間当直員・生活支援員を対象に研修(緊急時対応研修(年2回)・マナー接遇と自立支援・認知症研修・ <u>虐待研修</u>)を実施し、知識・技術の習得 ②法人内研修(基礎介護力向上研修)に参加し、知識・技術の習得 ③給食会議の開催により、調理員の情報共有と技術力向上を目指す(年3回)	継続	能登	
7	(3)	地域への貢献	①昼食を地域住民に1日 <u>5食</u> 限定(R6実績1日2食)で提供し、外出機会・他者との交流機会をつくる ②地域住民の学習療法サポーターによる、たかほでの学習療法にて、役割と生きがいをつくる。 ③北野地区住民に学習療法を周知・実施し、地域の認知症予防・機能維持につなげる。 ④高齢者に対する低栄養の改善・社会的孤立感の解消・アクティブシニアに対する生涯活躍の機会の提供のため、月に1回法人による地域食堂を実施する。 ⑤地域における介護予防の取組みを促進するために、 <u>年6回</u> 栄養士による料理教室を実施する。	継続	能登	栄養士
8	(2)	役割のある暮らしの支援	①日々の中で入居者が自発的に活動に取り組めるよう、レクリエーションの道具類を準備する ②入居者の喜びや楽しみにつながるレクリエーションや行事を計画し、地域の協力を得ながら実施する。 <u>社会福祉協議会のほっとカフェでの就労機会、ぬくもりの家えん朝市での創作物の販売を通して、働くことの喜びを感じる。</u>	継続	能登	藤原
9	(4)	適正利益の確保	①満室18名を達成・維持する(R6年度 平均17.2戸、平均実績稼働率95.4%) 目標稼働率97%(17.5戸)、目標事業収益 26,679,247 円(前期:24,962,776円) ②鷹栖町内・旭川市内・上川管内の地域包括支援センターに空室情報提供を行い、待機者獲得につなげる(<u>年5回</u>) ③広報やブログを通して、魅力を感じてもらえる情報の発信を積極的に行う <u>④食事とフィットネスを合わせた無料体験会を実施し、地域住民に魅力ある施設と感じて貰い、待機者獲得につなげる(年1回)</u> ⑤全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める ⑥給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施	新規・継続	能登	

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかま [評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者	月別進捗												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容										
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月				3月									
8	(2)	役割のある暮らしの支援	①日々の中で入居者が自発的に活動に取り組めるよう、レクリエーションの道具等を準備する。	能登藤原	計画				さつき祭観覧・焼き肉の会	七夕・花火の会	お月見の会				たかまリンピック		クリスマス会	正月遊び	豆まき	甘酒作り	計画通り行事を実施することができる。								
			②入居者の喜びや楽しみにつながるレクリエーションや行事を計画し、実施する。 社会福祉協議会のほっとカフェでの就労機会、めくもりの家えん朝市での創作物の販売を通して、働く事の喜びを感じる	能登藤原	計画	ほっとカフェでの就労			たかま朝市(えん朝市)打ち合わせ		えん朝市販売						えん朝市販売	えん朝市販売								ほっとカフェで毎月、就労でき、えんの朝市での販売に向けて作品づくりが出来る。			
9	(4)	新規入居者獲得のための営業・広報活動強化	①近隣地域の包括支援センター・医療機関を訪問もしくは電話での空室情報提供を行い、新規入居者・待機登録者獲得につなげる。(年5回)	能登藤原	計画	電話FAX			病院訪問							電話FAX	病院訪問				病院訪問				待機者を確保し、退去後の速やかな契約手続を行うことで、空室を最低限にとどめる。				
			②ホームページ上で空室状況等の情報を提供する。定期的にブログをあげ、興味を持ってもらうきっかけを作る。	能登藤原	計画	ブログアップ	ブログアップ			ブログアップ	ブログアップ						ブログアップ					ブログアップ	ブログアップ				年に8回以上ブログをアップする。		
			③食事とフィットネスを合わせた無料体験会を実施し、地域住民に魅力ある施設と感じて貰い、待機者獲得に繋げる(年1回)	能登藤原	計画					コラボイベント管理栄養士と行合せ	無料体験会起案						無料体験会周知	無料体験会開催	ブログアップ								無料体験会が実施でき、10名参加		
10	(4)	適正利益の確保	①満室18名を達成・維持する。	能登藤原	計画											待機者の確認・整理									目標稼働率97%(17.5戸)。				
			②コスト意識を持ち、消耗品や光熱費、暖房費の	能登藤原	計画	節約の啓発												節約の啓発									前年度比-1%の削減を目指す。		
			③給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施	能登藤原	計画	節約の啓発												節約の啓発									前年度比-1%の削減を目指す。		

事業所名(部署)

鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 根拠に基づく介護サービスを確実に提供するための基盤を整備する。
- (2) 地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤を整備する。
- (3) 職業倫理を遵守し、自立支援を念頭においた介護サービスを提供する。
- (4) 自己課題の克服とチーム力の向上を目指し研修プログラムの充実を図る。
- (5) サービスの質向上と職場環境(介護負担の軽減、業務効率化)の改善を図る。
- (6) 適正利益の確保

3. 事業所(係)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	根拠に基づくサービス提供	①課題・ニーズを的確に捉え、自立支援の視点から、質の高いサービスを提供する。	継続	伊藤	米澤
2	(1)	サービスの内容及び提供方法の標準化	①ヘルパー会議で支援の困難な利用者についてカンファレンスを行い、サービス提供方法の詳細について意見交換し、標準化を図る。 ②毎月の会議内で介助・支援方法について、具体的に伝え学ぶことで安全で安心できる技術を習得する。	継続	伊藤	深瀬
3	(2)	地域・家族との関係強化の取組み	①茶話会を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び地域住民の潜在しているニーズを把握する。	継続	深瀬	藤木
4	(2)	利用者・家族と職員との交流促進	①長寿を迎えられる利用者を対象に、自宅を訪問しお祝いを伝える。 ②外出する機会を設け、他者との交流や生活に楽しみを持てるような働きかけを行う。	継続	藤木	伊藤

3. 事業所(係)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
5	(3)	職業倫理を遵守する取組み	①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。	継続	伊藤	深瀬
6	(4)	専門性と介護技術の向上	①計画的に外部研修に参加し、知識・技術の習得を図る。 ②ヘルパー研修を通し、各自が講師を行うことで知識と技術の習得を図る。 ③自立支援を行い、利用者のADL・意欲・QOLの向上を図る。	継続	藤木	米澤
7	(5)	サービス評価と自己研鑽の取組み	①利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公表する。	継続	深瀬	伊藤
8	(5)	職場環境の改善	①計画的にリフレッシュ休暇8日間を取得し、仕事に対するモチベーションアップを図る。 ②ほのぼのシステム、音声入力の活用による業務効率化を図る。	継続	米澤	伊藤
9	(6)	利用者獲得のための営業・広報活動を強化する	①月実人数 <u>78人(R6, 78人)</u> 新規利用者 <u>24人(R6, 24人)</u> 月間述べ訪問回数平均 <u>826回 (R6, 830回)</u> を目標に掲げ毎月実績確認を行い、その都度収益増減の原因を明らかにする。 ②ヘルパーステーションのパンフレットの作成・活用を行い新規利用者獲得を図る。	継続	米澤	深瀬
	(6)	適正利益の確保	①目標収益を <u>37,523,870円(前年度36,007,753円)</u> 月刊訪問回数826回に掲げ、加算取得・茶話会活動を展開する。目標達成に向け、会議で実績報告を行いサービスの不足している状況がないか確認をする。	継続	米澤	伊藤

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションした結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組事項	取組内容	実施担当者	月次計画												中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容			
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月													
1	(1)	根拠に基づくサービス提供	①課題・ニーズを的確に捉え、自立支援の視点から、質の高いサービスを提供する。	伊藤米澤	計画	← 一居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する →																					従来のプランを見直し、利用者の自立支援を具体的に盛り込んだプランを滞りなく作成する。		
2	(1)	サービスの内容及び提供方法の標準化	①ヘルパー会議で支援の困難な利用者についてカンファレンスを行い、サービス提供方法の詳細について意見交換し、標準化を図る。 ②毎月の会議内で介助・支援方法について、具体的に伝えることで安全で安心できる技術を習得する。	伊藤深瀬	計画	← カンファレンスの開催 →																					支援の困難な利用者のケースカンファレンスを開催し、課題を改善できる。(年間20件以上)		
3	(2)	地域・家族との関係強化の取組み	①茶話会を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び、地域住民の潜在しているニーズを把握する。	深瀬藤木	計画	茶話会準備	茶話会(高住R1-R2)	茶話会(新光地区)								茶話会(新光地区)										年3回の茶話会と個別での交流会を開催し、参加延べ人数50名を目標とする。 各地域の住民と交流会を行うことで、事業所を知っていただき関係性を築ける。(各回・目標参加者15名)			
4	(2)	利用者・家族・職員との交流促進	①長寿を迎えられる利用者を対象に、自宅を訪問しお祝い伝える。 ②外出の機会を設け、他者との交流や生活に楽しさを感じながら行う。	藤木深瀬	計画	外出企画計画	外出企画準備	外出企画準備	外出企画実施	外出企画実施	長寿のお祝い														ご長寿のお祝いを伝えたり、外出する機会を得ることで、生活に楽しさを感じて意欲・向上に繋げることができる。				
5	(3)	職業倫理を遵守する取組み	①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。	伊藤深瀬	計画	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	会議内での事例検討	動画による研修	毎月の会議内で、事例を通じ検討を行う。また、集団指導の報告から管内の不適切事例等を学び職業倫理を再確認し、接遇マナーに関する苦情をゼロにする。				
6	(4)	専門性と介護技術の向上	①計画的な外部研修に参加し、知識・技術の習得を図る。 ②ヘルパー研修を通し、各自が講師を行うことで知識と技術の習得を図る。 ③自立支援を行い、利用者のADL・意欲・QOLの向上を図る	藤木米澤	計画	外部研修参加	内部研修参加	内部研修参加	外部研修参加	内部研修参加	外部研修参加	内部・外部研修参加	外部研修参加	内部・外部研修参加	内部研修参加	内部研修参加	内部・外部研修参加								年2回以上、外部研修に参加し、事業所内報告会で他のヘルパーと知識を共有する。				
7	(5)	サービス評価と自己研鑽の取組み	②利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公表する。	深瀬伊藤	計画											満足度調査実施	満足度調査の実施		調査結果公表						満足度調査を実施し、「良い」「概ね良い」の回答が昨年を上回り50名以上になる。(R3年度 良い:64名 概ね良い:26名)				
8	(5)	職場環境の改善	①計画的にリフレッシュ休暇8日間を取得し、仕事に対するモチベーションアップを図る。	米澤伊藤	計画	アンケート実施	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	休暇取得	計画的に連続休暇を取得することで、心身ともにリフレッシュ出来、仕事へのモチベーションを上げ働くことができる。				
8	(5)		②ほのぼのシステム、音声入力活用の活用による業務効率化を図る。	米澤伊藤	計画	計画・日程調整	実施	実施	実施	実施	実施	実施				実施													
9	(6)	利用者獲得の為の営業・広報活動を強化する	①月実人数78人(R6、78人)新規利用者数24人(R6、24人)月間通べ訪問回数平均826回(R6、830回)を目標に掲げ毎月実績確認を行い、その都度収益増減の原因を明らかにする。	米澤深瀬	計画		具体策検討		具体策検討						具体策検討		具体策検討								茶話会で訪問介護についてのPRを行い、ヘルパー業務の周知を図り、新規利用者24名に繋げる。(R6新規24名)。				
9	(6)	適正収益の確保	①目標収益を37,523,870円(前年度36,007,753円)月間訪問回数平均826回に上げ、加算取得・茶話会活動を展開する。目標達成に向け、会議で実績報告を行い、サービスの不足している状況がないことを確認する。	米澤伊藤	計画			茶話会	茶話会	茶話会															月の訪問件数目標826回/月 目標収益37,523,870円を達成する。				

事業所名(部署)

地域介護予防活動支援事業 ・ 地域リハビリテーション活動支援事業 ・ 介護予防普及啓発支援事業
在宅医療・介護連携推進事業 ・ 法人自主事業

1. 基本方針

基本方針(さつき会)

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

総合事業 基本目標(鷹栖町)

「高齢者が生涯活躍し、助け合い・支えあいによるお互いさまのまちづくり」

2. 重点目標

- (1) 住民が主体となって参加し、住民が住民を支える仕組みを作り、地域に根差した「楽しい」介護予防活動を推進
- (2) 地域における介護予防の取り組みの強化を図る
- (3) 医学的根拠に基づいた運動指導等を実施する
- (4) 町内の医療・介護関係者の顔の見える関係づくりを行い、在宅医療・介護の情報共有、連携を推進する
- (5) **地域貢献として、多くの住民のヘルスリテラシーを高め、社会参加を促すよう教育・啓蒙活動を実施する**

3. 事業所における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	① あったかすリハビリ体操の普及・住民主体の通いの場の立ち上げ支援 ② あったかすリハビリ体操指導士の活動支援 ③ あったかすリハビリ体操指導士の活動意欲促進 ④ あったかすリハビリ体操指導士の養成 ⑤ サーキットトレーニングの運営 ⑥ 利用促進のためのイベント開催 ⑦ 新規利用者への広報活動 ⑧ 取り組みの啓発活動 (地域介護予防活動支援事業)	① 体操指導士による住民主体のあったかすリハビリ体操教室を月12団体運営する(R6年度平均9.5団体/月) ② 住民主体の通いの場の活動支援(月1回) ③ 体操指導士のための定期的なミーティングや復習会を月1回開催する ④ あったかすリハビリ体操指導士養成講座を開催し、新規体操指導士を10名養成する(R6年度6名) ⑤ 月実利用人数100名を目標に、サーキットトレーニングでの運動指導を行う(R6年度平均94名/月) ⑥ 無料体験会等のイベント を年2回開催し、それぞれ3名の新規利用登録につなげる ⑦ 鷹栖町と協働して、介護保険証交付時にコレカラ利用促進のための広報活動を月1回実施する ⑧ 学会や研修会での発表	継続	大河原	大矢

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
2	(2)	① 身体機能評価の実施 ② 包括支援センターからの相談対応 ③ 通いの場における介護予防活動 ④ 町の特定健診での身体機能評価 ⑤ フレイル対策 (地域リハビリテーション活動支援事業)	① 月4名を目標に、コレカラ新規利用者に身体機能評価を実施し、適切な運動内容を指導する(R6年度平均2.4名/月) ② 月3件を目標に、地域包括支援センターや居宅介護支援センター、各事業所からの相談対応を行う(R6年度平均1.1件/月) ③ 年10団体を目標に、通いの場に出向き、体力測定会や健康講話の実施(R6年7団体) ④ 町の特定健診において身体機能評価やフレイルチェックを実施、保健指導対象者やフレイル高齢者に運動機会を提供する(R6年度1回実施) ⑤ 多職種協同でフレイル教室を開催する	新規／継続	大河原	大矢
3	(3)	① レッドコード教室の運営 ② コレカラサポーターの活動支援 ③ 毎日運動プロジェクトの実施 ④ 住民参加型介護予防の啓蒙 (介護予防普及啓発支援事業)	① 月実利用人数70名を目標に、レッドコード教室での運動指導を行う(R6年度平均70.2名) ② コレカラサポーター復習会、養成講座をそれぞれ年1回開催する(R6年度0回) ③ 運動習慣化に向けて、年2回公式LINEにて運動プログラムを配信する ④ 地域住民に向けて住民参加型介護予防に関する研修会を開催する	継続	大河原	大矢
4	(4)	① 住民への在宅医療・介護連携に関する知識の啓蒙 ② 在宅医療・介護関係者の連携推進 (在宅医療・介護連携推進事業)	① 在宅医療・介護連携に関する住民向け研修会を年1回開催する(R6年度1回開催) ② 在宅医療・介護連携に関する医療・介護職向け研修会や情報交換の場を年1回開催する(R6年度1回開催)	継続	大河原	大矢
5	(5)	① 介護予防に関する基本的知識の普及啓発 ② 互助活動の推進 ③ 社会参加の推進 ④ 公式LINEアカウントの運用 (法人自主事業)	① 月5団体の通いの場において、多職種協働でヘルスリテラシー講座の開催する(新規) ② ボランティア交流会を年1回、ボランティアによる大掃除を年2回実施する(R6年度大掃除2回実施、それぞれ14名、18名参加) ③ 公共交通機関を利用した町外への外出イベントを年1回開催する(新規) ④ 登録者180名を目標に、コレカラの公式LINEアカウントを運用する(R6年度162名)	新規／継続	大河原	大矢

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名

地域介護予防活動支援事業 / 地域リハビリテーション活動支援事業
介護予防普及啓発支援事業 / 在宅医療・介護連携推進事業 / 法人自主事業

[評価基準] S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: 取り組んだ D: 全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	月						中間評価	月						ゴール(達成目標)	最終評価		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	(1)	① あったかすリハビリ体操の普及・住民主体の通いの場の立ち上げ支援 ② あったかすリハビリ体操指導士の活動支援 ③ あったかすリハビリ体操指導士の活動意欲促進 ④ あったかすリハビリ体操指導士の養成 ⑤ サーキットトレーニングの運営 ⑥ 利用促進のためのイベント開催 ⑦ 新規利用者への広報活動 ⑧ 取り組みの啓発活動 (地域介護予防活動支援事業)	① 体操指導士による住民主体のあったかすリハビリ体操教室を月12団体運営する	大河原大矢	計画													指導団体 12団体/月			
			② 住民主体の通いの場の活動支援(月1回)	大河原大矢	計画	高齢者住宅はびわす支援	本郷体操はびわす支援	北野サロンはびわす支援	おひらき仲間はびわす支援	中央体操はびわす支援	12町内会はびわす支援									教室支援 1回/月	
			③ 体操指導士のための定期的なミーティングや復習会を月1回開催する	大河原大矢	計画	ミーティング開催	復習会開催	復習会開催	他市町村指導士との交流	復習会開催	他市町村指導士との交流									ミーティング・復習会 1回/月	
			④ あったかすリハビリ体操指導士養成講座を開催し、新規体操指導士を10名養成する	大河原大矢	計画					チラシ作成	チラシ配布									新規参加者 10名	
			⑤ サーキットトレーニングの運営	大河原大矢	計画															実利用人数 100名/月	
			⑥ 利用促進のためのイベント開催	大河原大矢	計画															新規登録者 3名/回	
			⑦ 新規利用者への広報活動	大河原大矢	計画	文書配布	文書配布	文書配布	文書配布	文書配布	文書配布	文書配布								文書配布 1回/月	
			⑧ 学会や研修会での発表	大河原大矢	計画		スライド作成	フライウエア学会シンポジウム	抄録作成											成果発表	
			⑧ 学会や研修会での発表	大河原大矢	実施		実施	実施	実施												
			2	(2)	① 身体機能評価の実施 ② 包括支援センターからの相談対応 ③ 通いの場における介護予防活動 ④ 町の特健診での身体機能評価 ⑤ フレイル対策 (地域リハビリテーション活動支援事業)	① 月4名を目標に、コレカラ新規利用者に身体機能評価を実施し、適切な運動内容の指導	大河原大矢	計画													評価人数 4名/月
② 月3名を目標に、地域包括支援センターや居宅介護支援センター、各事業所からの相談対応を行う	大河原大矢	計画																	相談件数 3件/月		
③ 年10団体を目標に、通いの場に出向き、体力測定会や健康講話の実施	大河原大矢	計画																		実施団体 10団体/年	
④ 町の特健診において身体機能評価やフレイルチェックを実施	大河原大矢	計画																		評価実施	
⑤ 多職種協同でフレイル教室を開催する	大河原大矢	計画																		教室開催	
⑤ 多職種協同でフレイル教室を開催する	大河原大矢	実施																			
3	(3)	① レッドコード教室の運営 ② コレカラサポーターの活動支援 ③ 毎日運動プロジェクトの実施 ④ 住民参加型介護予防の啓蒙 (介護予防普及啓発支援事業)	① 月実利用人数70名を目標に、レッドコード教室での運動指導を行う	大河原大矢	計画	R7上半期教室開催												実利用人数 70名/月			
			② コレカラサポーター復習会、養成講座をそれぞれ年1回開催する	大河原大矢	計画															復習会・養成講座 開催	
			③ 運動習慣化に向けて、年2回公式LINEにて運動プログラムを配信する	大河原大矢	計画															参加人数 20名/回	
			④ 地域住民に向けて住民参加型介護予防に関する研修会を開催	大河原大矢	計画															研修会開催	
4	(4)	① 住民への在宅医療・介護連携に関する知識の啓蒙 ② 在宅医療・介護関係者の連携推進 (在宅医療・介護連携推進事業)	① 在宅医療・介護連携に関する住民向け研修会を年1回開催する	大河原大矢	計画													研修会 1回/年			
			② 在宅医療・介護連携に関する医療・介護職向け研修会や情報交換の場を年1回開催する	大河原大矢	計画															研修会 1回/年	

令和7年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 地域介護予防活動支援事業 / 地域リハビリテーション活動支援事業
 介護予防普及啓発支援事業 / 在宅医療・介護連携推進事業 / 法人自主事業 [評価基準] S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: 取り組んだ D: 全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価			
5	(5)	① 介護予防に関する基本的知識の普及啓発 ② 互助活動の推進 ③ 社会参加の推進 ④ 公式LINEアカウントの運用 (法人自主事業)	① 月5団体の通いの場において、多職種協働でヘルスリテラシー講座の開催する	大河原大矢	計画															参加団体 5団体/月			
					実施	団体数 団体																	
			② ボランティア交流会を年1回、ボランティアによる大掃除を年2回実施する	大河原大矢	計画		大掃除										大掃除		交流会		大掃除 15名/1回 交流会 20名/1回		
					実施		実施 未実施											実施 未実施	実施 未実施				
			③ 道北バスを利用した外出イベントやろうそく出せを開催する	大河原大矢	計画							ろうそく出せ	外出イベント									ろうそく出せ 3名 外出イベント 15名	
					実施							実施 未実施	実施 未実施										
			④ 登録者180名を目標に、コレカラの公式LINEアカウントを運用する	大河原大矢	計画																	登録者数 180名	
					実施	登録者数 名																	

事業所名(部署)

サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかほ(第2層支援コーディネーター)

1. 基本方針

- (1) 次世代の経営を担う人材を育成する。
- (2) すべての施設・部署でDX・ICT・介護ロボットを導入・活用し、生産性とケアの質を向上させる。
- (3) 職員一人ひとりが主体的に行動し、活躍する土壌をつくる。
- (4) 地域課題を発掘し、新たな事業の創出と事業の多角化多機能化を図る。
- (5) 施設の大規模修繕・リノベーションを行い、居住環境とケアの質の向上及び職員の働きやすさ・働きがいの向上を図る。
- (6) 安定した経営基盤の確立と持続的な成長を図る。

2. 重点目標

- (1) 住み慣れた地域での生活が継続できるよう、住民と共に支えるネットワークをつくる

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	地域住民との連携協働	①地域住民の学習療法サポーターによる、たかほでの学習療法を実施し、役割と生きがいをつくる ②北野地区住民に学習療法を周知・実施し、地域の認知症予防・機能維持につなげる。 ③認知症カフェ(デコぼん茶屋)の開催が、地域住民が主体的に実施できるようにサポートする ④認知症サポーター養成講座を計画・開催し、認知症の知識普及 ⑤地域と連携し配食弁当の対象者を選定し、フレイル予防に取り組む	継続	能登	
1	(1)	役割のある暮らしの支援	①入居者の有する能力に応じた役割を選定し、声かけをはじめ掲示板や回覧を通して活動への参加を促す ②日々の中で入居者が自発的に活動に取り組めるよう、レクリエーションの道具類を準備する ③入居者の喜びや楽しみにつながるレクリエーションや行事を計画し、地域の協力を得ながら実施する。 <u>社会福祉協議会のほっとカフェでの就労機会、めくもりの家えん朝市での創作物の販売を通して、働くことの喜びを感じる。</u>	継続	能登	藤原

令和7年度 ブログ当番表

年次	令和7年度																										
	4月			5月			6月			7月			8月			9月											
日	3			20																							
法人全体	3 勤入社式・辞令交付式・永年勤続者表彰			20 迎会 職員互助会新人職員歓迎																							
日																											
法人本部・総務課				職員全体研修	さつき苑一斉清掃	大成老人会花壇おこし			大成老人会花壇整備			採用試験			熱夏フェスタ・御輿			採用試験	さつき苑一斉清掃								
日																											
さつき苑				外出&花見	菖蒲湯							さつき祭			御神輿	焼き肉		新秋祭									
日																											
なごみの家				お花見ドライブ	20周年祝	担当 日常の出来事（大坪）	8 春の一斉清掃			担当 日常の出来事（津野）						夏祭り			21 秋の一斉清掃	担当 日常の出来事（大懸）							
日																											
ぬくもりの家えん				花見	開設記念日	一斉清掃			花壇整備	円山幼稚園運動会	職 以上担当	日常の出来事（総合）	さつき祭見学	朝市開始	焼き肉			北野神社祭	夕涼み	えん祭り			職 以上担当	日常の出来事（総合）	一斉清掃		
日																											
デイセンター	アクティビティ（谷）	アクティビティ（藤川）		アクティビティ（大矢）	アクティビティ（古田）		アクティビティ（成田）	アクティビティ（岩井）				アクティビティ（神）	アクティビティ（レタ）	アクティビティ（レタ）				アクティビティ（谷）	アクティビティ（藤川）								
日				8			2	9	12				未定						14					15			
ステーション				外出企画			（第1回茶話会） （高齢者住宅R1）	（第2回茶話会） （高齢者住宅2）	外出企画																		
日																											
居宅介護支援	事業所PR			活き活きはびねすブラ	事業所PR		活き活きはびねすブラ	事業所PR	認知症サポーター ラバンメイト			活き活きはびねすブラ	事業所PR					活き活きはびねすブラ	事業所PR							旭川大学実習終了	
日				1			7									13			4	6	7						
たかほ・あえる	地域食堂			（開）記念日（9年目突	地域食堂	料理教室	家族懇談会・花壇整備	地域食堂				料理教室				さつき祭観覧	地域食堂	北野獅子舞	七タ・花火の会	ろうそくだせ	焼肉の会				（ほろ酔いマルシェ）	お茶の会	
日				1																							
コレカラ		中旬 体操指導士ミーティング		下旬 はびねす体操活動支援	1 （開）記念日（9年目突	中旬 大掃除	未定 特定健診での身体機能 評価	上旬 フレイル教室	中旬 日本 学 会 日本 ブ ラ イ マ リ ・ ケ ア			上旬 フレイル教室		中旬 流 他 市 町 村 指 導 士 の 交		7 ろ う そ く 出 せ		中旬 L I N E で の 運 動 配 信		上旬 流 他 市 町 村 指 導 士 の 交			中旬 外 出 イ ベ ン ト				

令和7年度 ブログ当番表

年次	令7年度																														
月	10月				11月				12月				1月				2月				3月										
日																															
法人全体								職員互助会忘年会	よいあいさつ賞															サービス向上発表会							
法人本部・総務課		採用試験									年末大掃除												3ひな祭り(ひな人形)								
さつき苑		ミニお祭り				出前会	そば会		ゆず湯	寿司会				新年会								節分									
なごみの家		紅葉狩りドライブ				日常の出来事(小林担当)					25クリスマス	28忘年会		日常の出来事(谷口担当)								3節分	日常の出来事(富山担当)	日常の出来事(壺山担当)							
ぬくもりの家えん		朝市最終日	りんご湯	収穫祭	ネイルサロン	新そば祭り	職以上担当(総合)			クリスマス会	ゆず湯	忘年会		小規模初詣	友の会新年会							節分	職以上担当(総合)	ひな祭り							
デイセンター	アタテイビティ(成田)	アタテイビティ(岩井)			アタテイビティ(岩井)	アタテイビティ(神)	アタテイビティ(レタシヤ)		アタテイビティ(谷)	アタテイビティ(藤川)				アタテイビティ(古田)	アタテイビティ(大矢)							アタテイビティ(成田)	アタテイビティ(岩井)	アタテイビティ(レタシヤ)	アタテイビティ(神)						
ステーション	9外出企画																														
居宅介護支援事業所	事業所PR		同居研修	居宅介護支援事業所合		事業所PR	地域力アップ講座			事業所PR				事業所PR							事業所PR	旭川大学実習終了	事業所PR	介護の入門的研修							
たかほ・あえる	料理教室	たかほ商店朝市開店	10	地域食堂	町内会花壇整備	8	大掃除	料理教室	認知症サポーター養成講座	下旬	無料食事とフィットネスの体験会			地域食堂	24	クリスマス会	31	年越し	1	創作活動(絵馬)	百人一首・書初め		3	節分	料理教室	北野サロン展示		地域食堂	3	ひな祭り	料理教室
コレカラ	毎水曜	あつたかすりハビリ体操指導士養成講座		下旬	在宅医療・介護連携推進員研修会			無料体験会	サポーター養成講座	中旬				大掃除	下旬	LINEでの運動配信			上旬	新年のご挨拶	上旬	雪かきの蒲黄法	中旬	無料体験会	下旬	ボランティア交流会		上旬	体操指導士復習会	中旬	新規体操活動支援